たんなんなんだ

Travel guide for Tannan area

丹南の観光情報は下記までお気軽にお問い合わせください。

鯖江市

鯖江市商工観光課	0778-53-2230
(一社)鯖江観光協会	0778-52-2323

越前市

越前市観光誘客課	0778-22-3007
(一社)越前市観光協会	0778-23-8900
観光・匠の技案内所	0778-24-0655

池田町

池田町農村政策課	0778-44-8210
(一財)池田屋OMO準備室	0778-44-8060

南越前町

南越前町観光まちづくり課	0778-47-8002
(一社)南越前町観光連盟	0778-47-3414
(一社)南越前町今庄観光協会	0778-45-0074
南越前町河野観光協会	0778-48-2240

越前町

越前町商工観光課	0778-34-8720
(一社)越前町観光連盟	0778-37-1234

「たんなんなんだ」福井県丹南周遊観光素材集

発行　丹南広域観光協議会

〒915-0096 福井県越前市瓜生町5-1-1（サンドーム福井 管理会議棟内）

電話／0778-23-4550

※本誌掲載情報は2023年3月時点の情報です

たんなんなんだ

Travel guide for Tannan area

福井県丹南周遊観光素材集



Walking



越前市

南越前町



Shopping

Discover

鯖江市







Activity





Encounter

越前町





池田町



Experience

丹南エリアの魅力がぎゅっと詰まったトラベルガイド！

福井のまんなか！

「たんなん」ってなんだ？



丹南（たんなん）エリアは鯖江市・越前市・池田町
南越前町・越前町の5つの市町からなるエリアです。
福井県のまんなかに位置し、山と海に囲まれた大自然や
そこで育まれた極上グルメ、奈良時代から続く数々の歴史ドラマや
現代にも息づくものづくりの技など、
さまざまな魅力にあふれています。

しかし、丹南の魅力はこれだけではありません。
旅先で最も思い出に残るのは、そこに住む人たちとの温かいふれあい。
「たんなんなんだ」では、観光スポットをめぐるだけの旅とはちょっと違う
地域の人たちとの交流を楽しめる旅をご紹介しています。
5つのまちに足を運びながら、
あなただけの丹南の魅力をぜひ見つけてみてください。

たんなんMAP



INDEX

1	福井のまんなか！「たんなん」ってなんだ？
2	たんなんMAP
3–4	たんなんを知るストーリー 1　ものづくり
5–6	TOUR 1　世界に一つだけのマイ包丁作り
7–8	TOUR 2　越前和紙と繊維のコラボレーション。和紙と糸枠のランプ作り
9–10	たんなんを知るストーリー 2　味覚
11–12	TOUR 3　旧北陸線トンネル群と伝承料理を満喫し、南越前町の風土を知る
13–14	TOUR 4　丹南で人生を豊かに。工芸と人との出会いを楽しむ旅
15–16	TOUR 5　米と発酵を通じて地域の食文化を知る旅
17–18	たんなんを知るストーリー 3　自然
19–20	TOUR 6　丹南の空の旅を満喫！大空を舞うアクティビティ
21–22	TOUR 7　北前船の歴史と雪国の暮らしを支える越前瓦をつなぐ旅
23–24	TOUR 8　福井の冬を2回楽しめる！越前焼の花瓶づくりと水仙刈り
25–26	たんなんを知るストーリー 4　歴史
27–28	TOUR 9　漆器の産地ならでは！漆塗りグラスで福井の地酒を飲み比べ
29–30	TOUR 10　旧北国街道を歩きながら、知られざるまちの歴史に迫る　泰澄寺〜萬慶寺
31	たんなんで見つけたお土産たち
32	観光ボランティアガイドとまちをめぐろう！
33–36	たんなんの四季を楽しむ
37–38	たんなんイベントガイド
39–40	たんなんなんだ タクシーでまわるモデルコース
41–45	観光スポット
46	たんなんアクセスマップ

TANNAN STORY
Traditional Crafts

たんなんを知るストーリー ものづくり

国内有数のものづくりの産地があつまる場所

丹南エリアは鯖江市や越前市、越前町を中心に、地場産業である「めがね」をはじめ、「越前漆器」「越前和紙」「越前打刃物」「越前箪笥」「越前焼」といった伝統的工芸品など、多種多様なものづくりが盛んです。これらの産地が半径10キロメートル圏内に集積しているのも珍しく、国内でも有数のものづくりのエリアなのです。脈々と続いてきた「伝統」を重んじながらも、変わりゆく時代の中で「今の時代に求められているものは何なのか」と思考をめぐらせる職人たち。歴史や時代の中で培われてきた技術・ノウハウを駆使した柔軟なものづくりはさまざまな世代を魅了します。

職人の技術が息づく手仕事、世界中から注目を集める
プロダクトなど、丹南のものづくりは魅力がいっぱい！

01 国内シェア９割以上！ 世界に誇る福井・鯖江のめがね



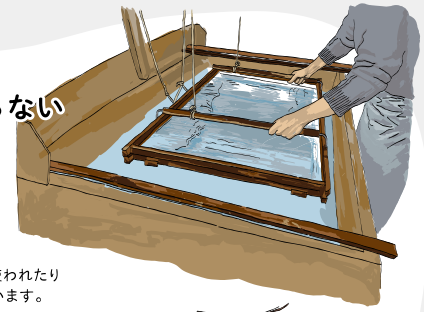
日本製めがねフレームの約96%が生産されている鯖江市。労働人口の約6人に一人がめがね産業に従事していると言われています。最近では産地が培ったチタン加工の技術を医療や電子機器などに生かすなど、めがねから生まれた技術が幅広い分野に広がっています。



めがね産業の創始者

農閑期の副業として大阪からめがねフレームの製造技術を持ち込んだ増永五左衛門。優秀な職人の教育にも尽力しました。

02 「用紙」の枠にとどまらない最高品質の和紙



1500年以上の歴史を持つ越前和紙。室町～江戸時代は公家の公用紙として使われ、明治維新後は日本初のお札に使われるなど歴史的にも重要な存在でした。近年では宇宙滞在用被服に採用されたり美術品の修復に使われたりするなど、幅広い分野のものづくりを支えています。



紙の神様からのお告げ

約1500年前、「紙漉きを生業とすれば生活が潤う」と村人に紙漉きを教えたとされる「川上御前」。紙の神様として大瀧神社に祀られています。



和紙の材料いろいろ

和紙の原料である楮、雁皮、三椏。これらを蒸して、皮を剥ぎ、手作業で細かい塵を取り除いていきます。

03 普段使いからハレの日まで暮らしを彩る越前漆器

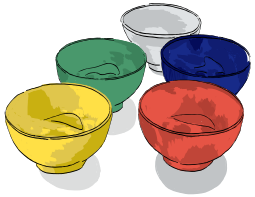


古墳時代末期から鯖江市河和田地区周辺でつくられてきた越前漆器。輪島や京都などから技法を取り入れ発展しました。また、時代のニーズに合わせたものづくりがされており、業務用漆器のシェアは全国No.1。普段使いから高級なものまで多種多様な器が揃います。

越前漆器のはじまりは王冠の修復！？

1500年以上前、継体天皇が王冠の修復を河和田の塗師に命じ、漆を用いて見事修復したことから漆器づくりを奨励したといわれています。





カラフルな漆器も誕生

近年ではポップなカラーの漆器や、食洗機が使える漆器など、さまざまな商品も誕生。若い世代からも注目を集めています。



04 刃物づくりに適した土地を求め辿り着いた場所

京都の刀匠、千代鶴国安が現在の越前市である府中で鍛冶をはじめ、近隣の農民のために鎌を作ったことが越前打刃物の起源です。近くには漆器の産地もあり、各地を行脚していた漆かき職人が鎌や刃物を売り回ったことから「越前打刃物」の名が広まりました。



池に沈めた狛犬

刀を造るたび狛犬を彫ったという千代鶴国安。平和を願って池に沈めたという伝承が残っています。



数年待ちでも手に入れたい！

料理用包丁やハサミ、カスタムナイフなど今では海外の愛用者も多い越前打刃物。中には数年待ちの商品もあるほど。



日本六古窯の一つ

2017年に「日本六古窯」として日本遺産認定を受けた越前焼。県外や海外に向けてもその魅力を発信しています。

05 古窯の歴史を再発見 あたたかみのある越前焼



平安時代末期からの歴史がある越前焼。北前船によって北海道から島根県まで広まり、北陸最大の窯業産地として発展しました。需要の落ち込みから一時期は衰退していたものの、発掘調査と研究によって復興を遂げ、1986年には伝統的工芸品の指定を受けました。



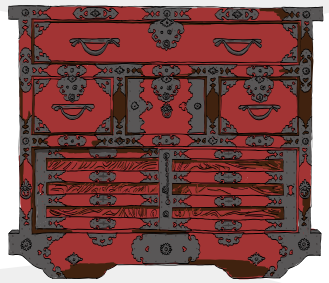
登り窯

良質な土を見つけては窯を作り焼成していた窯元たち。その窯跡は越前焼の産地近辺で200基以上発見されています。



06 越前漆器と越前打刃物の技術が融合した箪笥

越前漆器の技術で無垢材を加工し、釘を使わずに木材同士を組み合わせる「ほぞ接ぎ」の技術で作られる越前箪笥。飾りとなる金具には越前打刃物、漆塗りには越前漆器の技術が使われるなど、丹南の技術を集結させてできあがる伝統的価値の高い工芸品です。



金具の文様にも注目

さまざまな種類がある越前箪笥の金具。中でもハート型をした「猪目」は魔除けの意味が込められ、寺社仏閣などにも使われています。

精密な手仕事

金具の素材に使われるのは昔も今も変わらず鉄。切断の作業は機械でおこなわれることも増えてきたようですが、やすりで整える作業は職人の手作業です。





買い物も見学もできるファクトリーショップでものづくりをもっと楽しもう！

近年、丹南エリアでは工房とショップが併設したファクトリーショップが続々誕生！伝統と技術が詰まった工芸品を産地で手に取れるようになりました。ファクトリーショップをめぐって、ものづくりの魅力を体感しましょう！

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 1

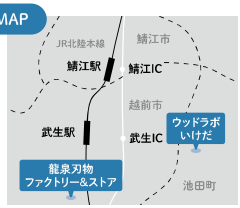
世界に一つだけのマイ包丁作り

グループ　越前市 池田町　通年

旅のポイント

面積の約9割を森林が占める森のまち・池田町と
福井県の伝統的工芸品「越前打刃物」の産地として知られる越前市をめぐり、
市町を横断して世界に一つだけの包丁を作ります。
自分で作るからこそ愛着もひとしおです。

MAP



問い合わせ先

一般社団法人SOE
電話：080-7850-5336
受け入れ人数：2名～5名
料金：28,000円



WOOD WORKING 1 森の町で包丁の柄とカッティングボードを作ろう！

まずは池田町へ。町産材を活用した木製品の製作などを行う「ウッドラボいけだ」で包丁の柄とカッティングボードを作ります。ケヤキ、ナラ、タモ、サクラなどからお好みの木材を選び、鉋や糸鋸、細かい部分は彫刻刀を使って木を切り出していきます。長年木の加工に関わっているスタッフが随所でサポートをしてくれるのではじめての方も安心です。

ウッドラボいけだ

住所：池田町池田9-6-1
電話：0778-44-6270
所要時間：2時間～2時間半
営業時間：9:00–17:00
実施可能日：水曜、年末年始以外





KNIFE SHARPENING 2 職人による「研ぎ」の技術を体感！

龍泉刃物 ファクトリー&ストア

住所：越前市池ノ上町92-5-6
電話：0778-43-6020
所要時間：1時間
実施可能日：第1・3土曜

次は越前市の「龍泉刃物」へ。越前打刃物の技法である火づくり鍛造技術を受け継ぎながらも、革新的な製品を生み出しています。職人のサポートのもと、細かさの異なる砥石で刃物を砥いでいくと、紙が切れるほど切れ味抜群に。実際に職人が使う道具を駆使し、先ほど作った柄に刃物を差し込めば完成です！

※お渡しは約一ヶ月後。柄の種類により作業工程は異なります。









ONE POINT TIPS

メンテナンスしながら使い続けたい

自分の手で作った実感と、サポート頂いた職人たちの想いや工程を感じるからこそ、大切に使いたいマイ包丁。越前市では「越前打刃物協同組合」や「タケフナイフビレッジ」でも研ぎ直しなどのサービス（有料）を行っていますので、抜群の切れ味を保ちながら、長くお使いいただけます。

旅ナカの楽しみ方



越前打刃物のステーキナイフで切れ味を実感

小京都の風情漂う町並みが残る越前市京町にある料亭「萬谷（まんたに）」では福井の食材を使った懐石料理が人気。カトラリーには龍泉刃物のステーキナイフを採用しており、越前打刃物の切れ味を体感していただけます。

（住所：越前市京町3丁目1-3　電話：0778-21-0080　営業時間：11:30–14:00、17:00–21:30　休日：月曜、年末年始）

旅アトの楽しみ方



越前打刃物のものづくりの現場を見学

「タケフナイフビレッジ」では、鍛冶や研ぎ職人の作業風景を無料で見学できます。鋼を鍛錬する音、水しぶきをあげながら刃物を研ぐ職人たちの息遣いは迫力があり、ものづくりの醍醐味を感じることができます。

（住所：越前市余川町22-91　電話：0778-27-7120　営業時間：9:00–17:00　休日：年末年始）

類似プラン

世界で一つだけのものづくりに興味がある方にはこんなプランもご用意しています。



糸ノコで作る、自分だけのオリジナルサングラス

めがねのまち鯖江市で、デザイン、生地色、生地厚など細かい部分までこだわった、世界に1枚だけのサングラスを作ってみませんか。約70種類ものデザインと約500種類もの素材から、オリジナルフレームを選ぶことができます。お顔に合わせてサイズを変えることも可能。テンプルとフロントを削り終えたら、あとは熟練の職人が仕上げ・組み立てを行います。フレームが完成した後は同じ鯖江市内にある乾レンズでサングラス用のレンズを入れることもできます。

※お渡しは約一ヶ月後となります





サンオプチカル

住所：鯖江市杉本町802-5
電話：0778-52-8155
料金：13,200円～
作業時間：約6時間
受入れ人数：4名以上

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



池田町の食材やお土産が充実
まちの駅 こってコテいけだ

住所：池田町稲荷36-25-1
電話：0778-44-8050
営業時間：8:30–18:30
休日：火曜　※GWと夏休み期間（8月）は除く



小さな子どものスキーデビューに
新保ファミリースキー場

住所：池田町新保13-4
電話：0778-44-7787　※営業期間中
営業期間外は0778-44-8210（池田町役場）
営業時間：平日 9:00–16:00、土日祝 9:00–17:00
※火曜・水曜・木曜は団体予約のみ受付（要予約）
営業期間：12月下旬～2月下旬（降雪状況による）



"猫寺"として親しまれている寺院
御誕生寺

住所：越前市庄田町32-1-1
電話：0778-43-6081
参拝自由



包丁の「柄」専門のギャラリーショップ
柄と縒

住所：越前市池ノ上町46-1-10
電話：090-5686-1658
営業時間：13:00–17:00（土曜は～16:00）
休日：不定休

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR

2 越前和紙と繊維のコラボレーション。和紙と糸枠のランプ作り

グループ 女子旅 シニア



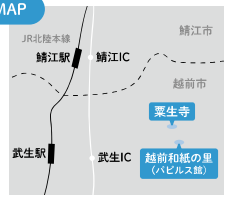
越前市

通年

旅のポイント

福井県の伝統的工芸品「越前和紙」の産地として知られる越前市は、
繊維産業が盛んな場所でもありました。このプランでは越前和紙の里で和紙を漉き、
糸の集散地として栄えた粟田部地区の古刹・粟生寺で糸枠を使ったランプに仕上げます。

MAP



問い合わせ先

一般社団法人SOE
電話：080-7850-5336
受け入れ人数：10名まで
料金：1人 3,300円



ECHIZEN WASHI 1 越前和紙の里で紙漉き体験

越前和紙の里「パピルス館」では、自分で和紙を漉き、押し花や紅葉、色紙で模様を作ってオリジナルの和紙を作り上げていきます。和紙の材料や紙漉きのコツなど、スタッフの方が丁寧にわかりやすく教えてくれるので、はじめての方も安心です。洋紙とは違ったやわらかな和紙の手触りを楽しんでください。

越前和紙の里（パピルス館）
住所：越前市新在家町8-44
電話：0778-42-1363
所要時間：20分～40分
営業時間：9:00–16:00
休日：火曜、年末年始







KASE LAMP 2 繊維の糸枠でランプにしあげよう！

粟生寺
住所：越前市粟田部町23-1
電話：0778-42-1114
所要時間：30分～40分

来上がった和紙を持って、粟田部へ。1300年の歴史がある粟生寺でランプに仕上げます。自分たちで漉いた和紙を、繊維に欠かせない糸枠に巻き付けると、素敵なランプの完成！伝統工芸である越前和紙と地域を支えてきた繊維産業の歴史が融合した作品は、世界に一つだけの旅の思い出になるはずです。











ONE POINT TIPS

繊維から味噌屋に転身した「かせや味噌」

粟生寺の近くにある「かせや味噌」は、その昔、紡いだ糸を巻く糸枠の問屋でした。明治時代に味噌屋に転身し、130年以上にわたり昔ながらの味噌作りを続けています。地域のお店でまちの歴史や成り立ちを聞くと、思わぬ発見があるかも。さまざまな歴史がある丹南ならではの楽しみ方です。

（住所：越前市粟田部町29-6　電話：0778-42-0040　営業時間：8:00–19:30　休日：日曜）

旅ナカの楽しみ方



お土産にぴったりな越前和紙グッズ

パピルス館にある和紙処「えちぜん」は、和紙を使ったグッズが豊富。折り紙やカードなどの和紙文具をはじめ、和紙人形やストラップ、テーブルマットといった雑貨にいたるまで、産地ならではの豊富な品揃えが自慢です。お土産にぜひどうぞ。

旅アトの楽しみ方



和紙の産地をのんびりまち歩き

越前和紙の産地、今立エリアのなかでも、大滝町、岩本町、不老町、定友町、新在家町からなる五箇地区には、今も多くの和紙業者が軒を連ねています。昔ながらの日本家屋が立ち並ぶ風情のある街並みは、のんびりとお散歩するのにぴったりです。

類似プラン

越前和紙をもっと気軽に楽しみたい方や手軽に体験したい方に向けたプランもご用意しています。



紙の神様へ祈願する越前和紙の絵馬作り

およそ1500年前、岡本川の上流に女神が現れ、村人に紙漉きの技を教えたとの伝説がある越前市。以来、村人はその女神を「川上御前」と崇め、紙漉きの神様として祀ってきました。川上御前に守られた越前市は品質、種類ともに全国有数の和紙産地。このプランでは願いを込めて漉いた和紙で絵馬を作り、川上御前が祀られている大瀧神社に奉納します。珍しい和紙の絵馬でお願いをすると、恋愛成就・安産・家庭円満・仕事運・健康等にご利益があるそう。魔除けになる「猪目」をかたどったハート型の絵馬は写真撮影にもぴったりです。







越前和紙の里（パピルス館）
住所：越前市新在家町8-44
電話：0778-42-1363
所要時間：1時間
料金：2,000円
営業時間：9:00–16:00
休日：火曜、年末年始

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



日本で唯一「紙の神様」を祀る神社
大瀧神社
住所：越前市大滝町13-1
電話：0778-42-1151
参拝自由



越前市が誇る紅葉のメッカ
花筐公園
住所：越前市栗田部町17
電話：0778-42-0361
入園自由



果物を使ったスイーツと収穫体験が楽しめる
明城ファーム
住所：越前市杉崎町3-9-1
電話：0778-42-7201
営業時間：摘み取り園 10:00–16:00、カフェ 10:00–15:00
休日：火曜
体験料：大人 2,000円、小学生 1,500円、幼児 500円、3歳以下 無料



工場見学や体験もできるそばのテーマパーク
越前そばの里
住所：越前市真柄町7-37
電話：0778-21-0272
営業時間：9:30–16:00（そば打ち体験 10:00～、12:30～、15:00～）
休日：1/1～1/3
そば打ち体験料金：1打（2食分）1,980円

TANNAN STORY
Taste

たんなんを知るストーリー 味覚

獲れたての新鮮な魚介や、滋味深い郷土料理…
美味しいものに囲まれたグルメの集積地で何を食べますか？

01 厳しい日本海が育む新鮮な魚介

丹南（たんなん）エリアの西側は日本海に面した長い越前海岸が続き、毎日漁港には新鮮な魚介類が水揚げされます。豊富な種類と量を誇るため、一年を通して新鮮な魚介を味わうことができるエリアとして人気です。毎年11月6日から3月20日頃まで解禁となる「越前がに」のシーズンになると、漁港はさらに活気づき、県内外から多くの人が訪れます。



越前がに

全国的にも高い人気を誇る「越前がに（ズワイガニ）」は黄色のブランドタグがその証。上品な甘みの蟹身と濃厚な蟹味噌を楽しめます。プチプチの卵を抱えたメスの「せいこがに」も人気です。



活イカ

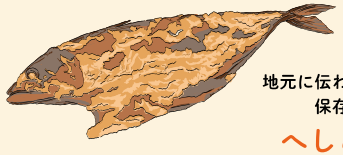
越前海岸では一年を通してさまざまな種類のイカが水揚げされます。味が濃く、生で食べるとプリッとした歯応えが特徴。タンパク質やアミノ酸が豊富で、低カロリーであることも人気の理由です。

甘エビ

冬の味覚を代表する逸品、甘エビは水深200～550m付近に生息している鮮やかな赤い色のエビ。腹に青い粒状の子がある“子持ち”が特に人気で、生で味わうととろけるような食感と甘みを堪能できます。

越前がれい

「アカガレイ」とも呼ばれ、臭みがなく、身は肉厚で豊かな味わいが広がります。お腹にたっぷりの卵を持つ厳寒期（11月～2月）が最も美味しいと言われ、煮付けや唐揚げなどさまざまな食べ方で楽しめます。



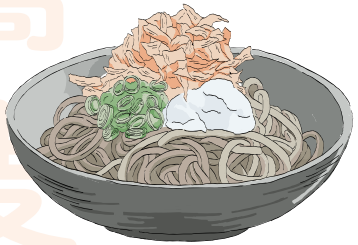
地元に伝わる保存食

へしこ

サバなどの魚を塩漬けし、米糠（こめぬか）に漬け込み1年以上熟成させた発酵食品。樽に漬けることを「へし込む」と言うことが名前の由来とも言われています。冬場の貴重なタンパク源として、昔から各家庭でつくられてきました。

02 非常食から生まれた越前のそば

「越前おろしそば」のはじまりは、今から400年以上前のこと。慶長6年（1601）に府中（現在の越前市）の領主としてやってきた本田富正が、京都・伏見から蕎麦職人の金子権左衛門をつれてきたことがはじまりでした。城下の人々に戦や災害に備える救荒食としてそばの栽培を奨励し、健康面を考慮して大根おろしと一緒に食べるそばを考案したと言われています。



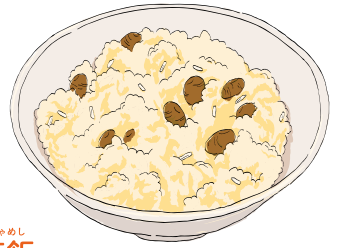
越前そば

「そばがおいしいと思う都道府県」※No.1に輝いた福井県では、冷たいそばに大根おろしと削り節、刻みネギをのせて食べる越前おろしそばが人気。丹南エリアでは毎年11月後半から香り高い「新そば」が味わえます。

※2021年、2022年「ねとらぼ」調査

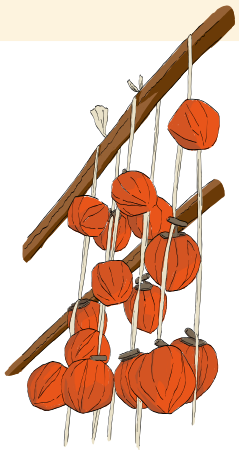
03 先人たちが知恵を絞り生まれた郷土食

四季を通してさまざまな山の幸が採れる丹南エリア。里山は雪深い地域も多く、冬の寒い時期を乗り越えるために、野菜や豆、果物などさまざまな食材を干す・漬ける・炒るなどして常備食にしていました。先人たちが知恵を絞って生まれた郷土料理は、滋味深くなつかしい味わい。それぞれの地域で、彩り豊かな里山の恵みを味わってください。



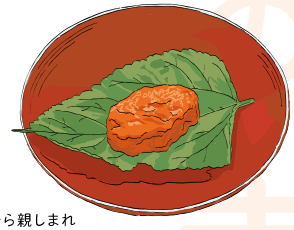
茶飯（ちゃめし）

南越前町今庄の郷土料理として愛されてきた茶飯。もち米とうるち米に炒った大豆と熟々の豆入り番茶、醤油、酒を加え炊き上げて作ります。香ばしい番茶と大豆の香りが、食欲をそそります。



今庄つるし柿

「今庄つるし柿」は南越前町今庄の特産品。干しながら燻製にする独特の製法で、渋みが抜け、熟成した甘みとスモーキーな香り、独特の風味が漂います。お酒に合うおつまみとしてもおすすめです。

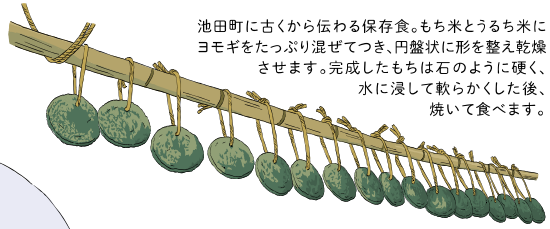


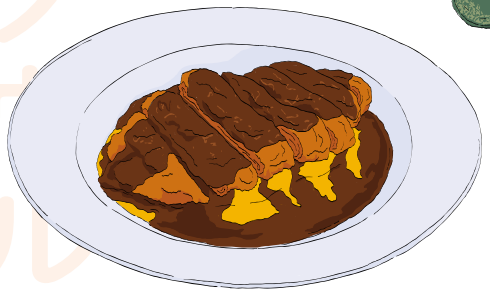
山うに

鯖江市河和田（かわだ）地区で昔から親しまれてきた伝統の薬味。柚子、福耳とうがらし（赤ナンバ）、鷹の爪、塩を丹念に摺り込んで作ります。見た目はまるで海のうに。和洋中どんな料理にも合います。

ばんこもち

池田町に古くから伝わる保存食。もち米とうるち米にヨモギをたっぷり混ぜてつき、円盤状に形を整え乾燥させます。完成したもちは石のように硬く、水に浸して軟らかくした後、焼いて食べます。





ボルガライス

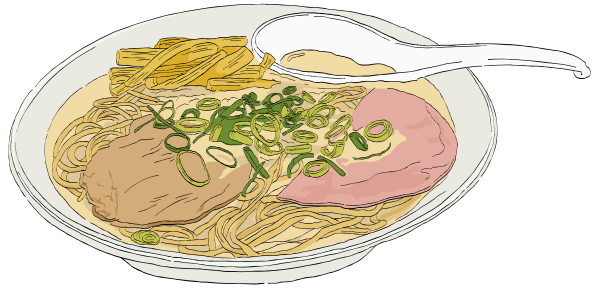
オムライスにトンカツをのせ、お店こだわりのソースをかけた越前市のソウルフードの一つ。30年以上前から地元の人に愛され、市内約20店舗で個性豊かなボルガライスを楽しめます。

中華そば

JR武生（たけふ）駅の周辺には20店舗近く「中華そば」を出す店があります。ラーメンとは違い、かつおや昆布出汁に鶏ガラなどのスープをいれることで、上品ですっきりした味わいが口の中に広がります。

04 お店ごとに違いを楽しむソウルフード

丹南エリアのなかでも越前市は独自の食文化が息づくまち。「越前おろしそば」に加え、ご当地グルメとして「ボルガライス」と「中華そば」が注目を集め、“越前市三大グルメ”とも言われています。それぞれの食べ物には地元有志の愛好会も存在し、情報発信によって県外のファンも拡大中。お店ごとに味つけや調理方法に違いがあるので食べ比べもおすすめです。



FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR FUKUI TANNAN AREA

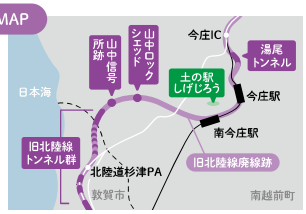
3 旧北陸線トンネル群と伝承料理を満喫し、南越前町の風土を知る

グループ シニア　南越前町　春 3月～5月 秋 9月～11月

旅のポイント

明治時代に敦賀と今庄をつないだ旧北陸線トンネル群の遺構を歩いてめぐり、
今庄宿の歴史ある古民家で地域に伝わる伝承料理をいただくルート。
南越前町の歴史や食文化などさまざまな魅力を楽しめます。

MAP





TUNNEL TOUR

1 歩いて散策！旧北陸線トンネル群

明治時代、敦賀と今庄を結ぶ険しい峠に設けられた旧北陸線トンネル群。100年以上経った今も道路用の現役トンネルとして使用されており、中を歩いて散策することができます。11基のトンネルは、国の登録有形文化財に登録。一つひとつのトンネルを見るとレンガや石組が異なり、タイムトラベルしたような感覚を味わえます。

今庄観光ボランティアガイド協会
住所：南越前町今庄74-3-1（JR今庄駅構内）
電話：0778-45-0010
人数：1名～（ガイド1名当たりの人数は要相談）
料金：半日1,500円～（案内する人数、コースによって異なる）





CUISINE

2 大正時代の古民家でいただく伝承料理

今庄にある大正時代に建てられた古民家「土の駅しげじろう」で、地元のお母さんが作った四季折々の伝承料理をいただきます。丹南地域でつくられた漆塗りのお膳には「茶飯」をはじめ、ゆり根の梅和え、むかごのゴマ和え、昆布巻き、辛子麩など、季節に応じた今庄の伝承料理が盛りだくさん。丁寧に調理された料理の数々は目でも舌でも楽しめます。

土の駅しげじろう
住所：南越前町今庄67-17
電話：0778-45-1272
人数：～40名
料金：3,300円～（応相談）




（画像提供：ソトコト・プラネット）





ONE POINT TIPS

南越前町をめぐるなら SL バスで！

北陸本線敦賀～今庄間で活躍したデゴイチこと「D51形蒸気機関車」。この蒸気機関車をモチーフにした「SLバス」が南越前町に登場しました！ グループでの観光の際にもご利用いただけます。

（問い合わせ先：南越前町観光まちづくり課／0778-47-8002）

旅ナカの楽しみ方



宿場町の面影残る「今庄宿」を散策

北陸随一の難所を背にした宿場町「今庄宿」。当時の旅人は今庄宿で疲れを癒して、この先の峠道に備えました。現在も当時の宿場町の風景が色濃く残っており、約1kmの街道の街並みはじっくり散策するのに最適です。

旅アトの楽しみ方



道の駅で地域の食材に出会う

丹南エリアには地域で採れた新鮮な食材を扱う道の駅が充実しています。なかでも、「南えちぜん山海里」は2021年に誕生した人気の道の駅。南越前町の伝承料理をいただいた後はお土産に地元の食材を買って帰るのはいかがでしょうか。

類似プラン

南越前町のローカルを楽しめる類似プランをご紹介します。



伝承料理とお説法で暮らしに触れる

南越前町には、世界の花はす約130種が見られる「花はす公園」や「はすまつり」が開催されるなど、蓮の名所としても有名です。蓮とかかわりの深い妙見山歓喜寺では、院首による蓮に関するお説法を聞いた後、越前和紙で蓮の花を作るワークショップや福井の法事に欠かせない報恩講料理をベースにした伝承料理を味わえるなど、南越前町の暮らしに根付いた文化を体験できます。院首のお説法やこの土地で採れた食材を使った伝承料理を通じて、南越前町の風土を感じていただけるローカルツアーです。





妙見山歓喜寺
住所：南越前町清水51-1-2
電話：0778-47-2115
人数：20名～40名
料金：3,000円～（説法・食事・体験込）

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



明治時代に積み上げられた砂防堰堤群
アカタン砂防堰堤群
住所：南越前町古木
見学自由



名物はす湯と庭園露天風呂が自慢
花はす温泉 そまやま
住所：南越前町中小屋60-1
電話：0778-47-3368
営業時間：8:00–22:00（最終受付21:00）
休日：火曜（祝日の場合は営業）
入浴料金：日帰り／中学生以上 650円、3歳～小学生 350円、3歳未満 無料



家族や仲間と楽しむそば作り体験
今庄そば道場
住所：南越前町大門10-3-1
電話：0778-45-1385
営業時間：8:30–17:15
休日：火曜（祝日のときは翌日）、年末年始
料金：1こね 2,200円



200年もの歴史がある「七福神祭り」
妙泰寺
住所：南越前町西大道10-8
電話：0778-47-2075
参拝自由

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 4

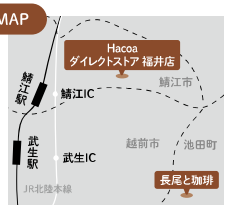
丹南で人生を豊かに。工芸と人との出会いを楽しむ旅

グループ 女子旅　池田町 鯖江市　通年

旅のポイント

ガイドブックに載っている観光地を訪れても、地域の人と知り合える機会は意外と少ないもの。
旅行中に地域の人と出会うきっかけが生まれると、旅の思い出は一層色濃く残るはず。
ものと人との出会いを通して丹南を楽しむプログラムをご紹介します。

MAP



問い合わせ先
一般社団法人SOE
電話：080-7850-5336
料金：3,000円（飲食・刻印・プレート代）



COFFEE TIME 1 「長尾と珈琲」で語らいを楽しむ

「長尾と珈琲」は、大阪から移住した長尾夫妻のこだわりが詰まった、珈琲好きとおしゃべり好きが集まる喫茶店。長尾夫妻は減農薬・無化学肥料のお米をつくる「長尾農園」を営んでおり、農閑期や週末だけ「長尾と珈琲」を営業しています。ウッドプレートに乗った自慢のケーキと珈琲をいただきながら、語らいを楽しみます。

長尾と珈琲
住所：池田町板垣51-13-3
電話：0778-67-6723
営業時間：12:00–16:00
休日：月曜～金曜





ナビゲーター
長尾 伸二さん
真樹さん
（長尾と珈琲）



ONE POINT TIPS

旅先でも、地元のようにゆったり過ごしてほしい。

週末だけの気ままな喫茶店ですが、お一人から親子連れ、カップルなど、地元の人から県外の人までほるばるやって来てくださいます。お客さんと楽しく話していると、このエリアを故郷にように感じてくださる方も。おじいちゃんの家に来たような気分で、ゆったり過ごしてくださいね。

WOOD PLATE 2 ウッドプレートに刻印して旅の思い出を作ろう

Hacoaダイレクトストア福井店
住所：鯖江市西袋町503
電話：0778-65-3303
営業時間：11:00–18:00
休日：水曜、年末年始

珈琲とスイーツを堪能した後はウッドプレートをお持ち帰りして、鯖江市河和田を目指します。河和田では、漆器や木工などさまざまな工房が集積。木製デザイン雑貨専門店の「Hacoa」では、レーザーで文字を刻印してくれるサービスがあります。旅の記念として、持ち帰ったウッドプレートにオリジナルの刻印をしてもらいましょう。







旅ナカの楽しみ方



伝統工芸産地めぐり

めがねの生産で有名な鯖江市ですが、河和田エリアは漆器や木工をはじめ伝統工芸が盛んな地域。半径10km圏内に工房が集積しています。河和田では普段から一般客を受け入れられるよう、ショップが併設されている工房も増えてきているので、ふらりと立ち寄るのもおすすめです。

旅アトの楽しみ方



あの人に会いに、再び丹南へ

旅先で出会った人と会話が弾んだり仲良くなったりすると、「あの人に会いたいからまた行こう」と思う人も多いはず。そんな人の魅力にふれるのも丹南ならではの楽しみです。旅から戻った後も、出会った人たちのことを思い出して、次の旅に向けて思いを馳せてみてください。

類似プラン

福井の工芸をもっと気軽に楽しみたい方に向けたプランもご用意しています。



お気に入りの越前焼で楽しむ珈琲時間

「越前陶芸村文化交流会館」内に2ヶ所ある、カフェスペースは知る人ぞ知る人気スポット。棚には30人以上の陶芸作家が制作した100個前後ある越前焼のコーヒーカップがずらりと並びます。まずはこちらの中からお気に入りをセレクト。デザインや形、質感などを楽しみながら実際にコーヒーを飲むことができます。カフェスペースの目の前は自然豊かな越前陶芸公園の風景が広がりリラックス。気に入ったコーヒーカップはその場で購入することもできます。日本六古窯の一つである越前焼を気軽に試しながら、お気に入りの作品との出会いを楽しんでください。





越前陶芸村文化交流会館
住所：越前町小曽原7-8 越前陶芸村
電話：0778-32-3200
料金：一杯 200円
営業時間：9:00–17:00（入館は16:30まで）
休日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



本殿は国の重要文化財
須波阿須疑神社

住所：池田町稲荷13-1
電話：0778-44-6365
参拝自由



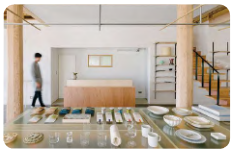
農村の風景を見ながら楽しむ本とお菓子
小豆書房

住所：池田町稲荷18-4-1
電話：080-2395-1080
営業時間：11:30–19:00
休日：水曜、木曜、金曜



固定概念にとらわれない工芸の価値を提案
ろくろ舎

住所：鯖江市西袋町512
営業時間：11:00–18:00
休日：不定休



福井県産の商品をはじめ、国内外のプロダクトが揃う
ataW

住所：越前市赤坂町3-22-1
電話：0778-43-0009
営業時間：11:00–18:00
休日：水曜、木曜、年末年始

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 5

米と発酵を通じて地域の食文化を知る旅

グループ ファミリー

越前市 南越前町

春 秋 4月〜10月

旅のポイント

丹南（たんなん）地域では、自然に寄り添った無農薬の米作りを実践している地域があります。
このプログラムでは無農薬米を羽釜で炊き、発酵食づくしのランチをいただきます。
おいしいだけではなく、丹南の風土も感じられます。

MAP



問い合わせ先

南越前町観光連盟
住所：南越前町牧谷39-2-2
電話：0778-47-3414
料金：大人 5,500円、小人 4,400円



ORGANIC RICE

1 無農薬のお米で炊き立てごはんをいただく

見 渡す限り緑の田園と美しい里山風景が広がる越前市坂口地区。このプログラムではこの場所で作られた無農薬の玄米を精米。出る糠も無農薬なので、料理に使うこともできます。豊かな生態系を育む里山の無農薬米は、人と生き物が共存して暮らしていく中で生まれた食のひとつ。一粒一粒を噛み締めるとお米の甘さに驚くはずです。

越前市エコビレッジ交流センター「風の館さかのくち」　住所：越前市湯谷町25-25-2　電話：0778-28-1123
営業時間：9:00–22:00　休館日：月曜、祝日の翌日





HAKKOU LUNCH

2 地元の食材にこだわった発酵づくしのランチ

体 験1で炊いたごはんと精米で出た糠を持って越前海岸の「うみの宿さかい」へ。こちらではサバを糠漬けした「へしこ」を中心に、発酵食のランチをいただきます。新鮮な魚介と、米どころで生まれた糠があるからこそ生まれた「へしこ」。糠は女将さんが考案した「発酵レシピ」とともに持ち帰り、ご自宅で調理してみてください。さまざまな味わいを楽しんでいただけます。

うみの宿さかい　住所：南越前町糠12-21　電話：0778-48-2738









ONE POINT TIPS

地域で育まれた食から自然や風土を感じてほしい。

「地域の生態系を育む地道な取り組みや、地域文化を次世代につなぎたい！」そんな想いから、私たちはこの地域で生まれた食材を使って豊かな食を楽しんでもらいたいと思っています。自然にふれ、人にふれながら食べるごはんは丹南地域の風土をまるごと味わう食体験になるはずです。

写真左から … 野村みゆきさん（エコビレッジ交流センター）、南清美さん（うみの宿さかい）、田中佳子さん（フードコーディネーター）

旅ナカの楽しみ方



コウノトリが住む豊かな自然を訪ねる

越前市の白山地区や坂口地区では、野生のコウノトリの巣立ちを地域ぐるみでサポートしています。長い年月と地道な活動を経て、今では絶滅危惧種の生き物たちが沢山住む豊かな環境に。散策すると自然からのエネルギーを感じることができます。

旅アトの楽しみ方



越前海岸の新鮮な魚介をお土産に

道の駅「越前」エリアでは1年を通じて新鮮な魚介をはじめ、越前町の特産品が手に入ります。地域の新鮮食材をいただけるレストランや温泉も完備。購入した商品はすべて即日発送可能なので、大切な人への贈り物やおみやげにもおすすめです。

類似プラン

丹南の発酵食をもっと深く楽しみたい方に向けたプランもご用意しています。



福井の保存食「へしこ」を一からつくる「へレンプロジェクト」

「へしこ」はサバを糠で漬けた福井の伝承料理。漁師町のおかみさんたちが海で獲れたサバを使って家庭で作る秘伝の保存食です。へレンプロジェクトは、サバを捌いて塩漬けし、糠漬けを経てへしこを作る1年を通じてのワークショップ。いろんな味や方法でへしこを漬けるなど、みんなで試行錯誤するのも楽しみの一つです。塩味が効き、サバと糠の旨みが凝縮されたへしこは、おにぎりやパスタなどさまざまな料理に使えるすぐれもの。自分で作るとその味は格別です。ワークショップの体験後は、「うみの宿さかい」でランチタイム。参加者と交流を深めながら食べるごはんも魅力です。





へレンプロジェクト
問い合わせ先：0778-48-2738（うみの宿さかい）
活動場所：南越前町河野（へしこ工房）
料金：5,000円（3回分）

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



丹南で楽しむさくらんぼとぶどう狩り
観光農園どんぐり山
住所：越前市中山町11-1-1
電話：0778-28-1288
営業時間：9:00–17:00
営業期間：5月上旬〜10月下旬



地産地消の食材にこだわった農家レストラン
白山さんち
住所：越前市上杉本町11-7
電話：0778-67-7256
営業時間：10:00–14:00（完全予約制）
休日：火曜、水曜、木曜



目の前に広がる日本海の夕焼けは絶景
河野シーサイド温泉ゆうばえ
住所：南越前町甲楽城7-31-1
電話：0778-48-2388
営業時間：11:00–21:00
休日：水曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料金：大人 600円、小人 330円



自然豊かな河野川のほとりにあるキャンプ場
めだかの学校
住所：南越前町赤萩38
電話：0778-48-2146
営業期間：4/1〜11/30
料金：清掃協力金 200円、ロッジ1棟 13,200円〜

TANNAN STORY

Nature

たんなんを知るストーリー 自然

絶景が広がる海岸や心あらわれる昔懐かしい里山…
海と山、それぞれの風景のなかに暮らしの営みが感じられます。

夕日

どこを切り取っても絵になる日本海に沈む幻想的な夕日

「日本の夕日百選」にも選ばれている越前海岸は西向きの場所が多く、日本海の大パノラマ風景が一望できる有名な「越前岬展望台」をはじめ、美しい夕日スポットが数多くあります。海に沈む夕日は格別。夕日が沈んだ後のマジックアワーも幻想的な景色が広がり、美しい風景を写真におさめる人も珍しくありません。丹南の旅の思い出に、絶景をお楽しみください。

里山

ここは日本の原風景 ずっと眺めていたくなる里山

池田町や鯖江市・南越前町の東側はのどかな里山が広がる地域。四季を通じて春の新緑、秋の紅葉、冬は雪景色と変化のある姿を見せてくれます。里山や希少野生生物、生物多様性の保全再生に向けた取組を進めている地域も多く、越前市では天然記念物のコウノトリが舞う光景が見られることも。いつ訪れても飽きることのない景色が広がります。

海

さまざまな表情を見せる雄大な日本海

丹南エリアに広がる日本海では、海水浴や釣りをはじめ、さまざまなマリンアクティビティを楽しむことができます。春夏は空と海のコントラストが美しい穏やかな景色が広がり、冬は岩肌に波が激しくぶつかるなど、季節ごとに海の表情がまったく変わるのも魅力の一つ。越前海岸沿いを南北に縦断する国道305号は、日本海の雄大な眺めが望める絶景ロードとして有名です。

水仙

厳しい冬の海岸沿いに可憐に咲く水仙

越前海岸は淡路島、房総半島に並ぶ「日本水仙の三大群生地」のひとつ。越前町・南越前町・福井市にわたる越前海岸一帯に咲く日本水仙は「越前水仙」と呼ばれ、生花としても人気が高く、関西を中心に中京や関東等へ出荷されています。12月～1月にかけては、海岸沿いに可憐な白い花が一帯に咲き誇るのが冬の風物詩。地元の人たちによってその景観が守られています。

奇岩

隆起海岸によるダイナミックな奇岩断崖

越前海岸は越前町の「越前岬」を西端に、緩い「く」の字形で日本海へ突き出ており、北端部に九頭竜川が流れ込みます。リアス式海岸である若狭湾と違い、隆起海岸によるゴツゴツとした迫力のある奇岩断崖が特徴で、風と波の浸食作用が作り上げた自然の大トンネル「呼鳥門」などの奇岩断崖が続く海岸美は、訪れる人々を魅了します。

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR

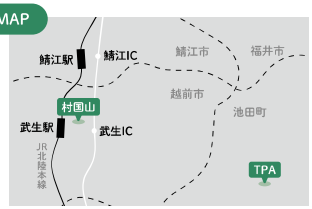
6 丹南の空の旅を満喫！大空を舞うアクティビティ

ファミリー　越前市 池田町　通年 ※アトラクションにより異なる

旅のポイント

丹南の自然を思いっきり満喫したい！そんな方に空から楽しめるプランをご紹介します。
市街地や森の上を鳥になった気分で滑空できるアクティビティは、
非日常な感覚と爽快感を味わえます。心も身体もリフレッシュしてみませんか？

MAP





PARAGLIDING 1 パラグライダーで市街地を飛ぶ！

通年営業

北陸自動車道「武生IC」を降りてすぐ、越前市のど真ん中にある村国山でパラグライダーによる遊覧飛行を楽しめます。操縦はすべてプロが行うので安心。時期や当日の気候によってさまざまな景色に変化するので、何度でも楽しめる体験です。日本でここまで市街地に近い空間でのフライトはかなりレア！約10分の遊覧飛行をお楽しみください。

ジャムスポーツパラグライダー風の谷ムラクニ校

住所：越前市帆山町7-12
集合場所：日野川河川緑地公園南東側
電話：090-3766-8553
営業時間（体験可能時間）：10:00–16:00
料金：11,000円 ※別途保険料として500円頂戴します
利用条件：6歳以上で体重100kg以下の方
所要時間：約60分
開催期間：通年 ※天候により中止の場合あり





ZIP LINE 2 ジップラインで森の上を飛ぶ！

3月中旬～12月中旬

TPA（ツリーピクニックアドベンチャー）いけだ

住所：池田町志津原28-16
電話：0778-44-7474
営業時間：10:00–17:00
（体験可能時間 最終受付16:00）
料金：通常期 4,300円、繁忙期 4,700円
利用条件：130cm以上で体重100kg未満の方
所要時間：約60分
定休日：火曜（GWと夏休み期間中は毎日営業）

ジップラインとは、山の尾根から尾根へと張られたワイヤーを滑空するアクティビティのこと。往路と復路を合わせた長さ約1kmのワイヤーケーブルで地上約60mの高さを滑空することができます。不定期で静寂の夜の森を滑走する「ナイトジップ」も開催。木々を見下ろしながら空を飛ぶ爽快感と四季折々で表情を変える見たことのない絶景をお楽しみください。








ONE POINT TIPS

TPAのアクティビティはほかにもたくさん！

TPAではメガジップライン以外にも、森がまるごと巨大なジャングルジムのようになった「アドベンチャーパーク」など、たくさんのアクティビティがあります。2023年春には小さなお子様もたのしめる新パークもオープン。（それぞれ利用条件が異なりますので、ホームページをご確認ください）

旅ナカの楽しみ方



越前市３大グルメを味わう

美味しいものが盛りだくさんの丹南エリア。アクティビティの腹ごしらえに、越前市3大グルメ（ボルガライス・中華そば・越前おろしそば）を味わうのはいかがでしょうか。子どもから大人まで大人気のメニューをぜひご賞味ください。（写真はボルガライス）

旅アトの楽しみ方



温泉で旅の疲れを癒す

アクティビティの後の疲れを癒すには温泉が一番！TPAのすぐそばにある「渓流温泉冠荘」は美人の湯ともいわれ、ナトリウム炭酸水素塩泉のなめらかな泉質。四季折々の景色が楽しめ、日帰り入浴も楽しめます。
（住所：池田町志津原14-17　電話：0778-44-7755　営業時間：10:00–21:00（20:00受付終了）　入湯料：中学生以上 600円、3歳以上 300円　休館日：第1・3火曜）

類似プラン

丹南の自然を思いっきり楽しめる類似アクティビティプランをご紹介します。

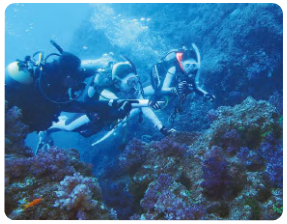


まちなかワンダーランド！日野川SUP体験

JR武生駅から徒歩約8分。まちなかを流れる雄大な日野川でゆったりSUPが楽しめます。サーフボードよりも大きく安定感があるため、初心者でも簡単に立つことが可能です。1艇当たり最大3名まで乗れるので、親子や友人同士で楽しんだり、天気が良いときは寝転んで風を感じたりするのもおすすめです。川岸を散歩するように、のんびりと周りの景色を眺めながらリバークルージングを楽しんでください。

一般社団法人 環境文化研究所

住所：越前市国高2-324-7
電話：0778-25-6051（月曜～金曜 9:00–17:00）
料金：高校生以上 3,850円、中学生以下 2,200円
申込：土日祝を除く7日前の15時までにWEBから申し込みください
利用条件：小学生以上、健康状態良好な方 ※小学生は保護者同伴
所要時間：約90分（体験50分）
開催期間：4月～11月 ※天候により中止の場合あり
人数：2名～15名（1艇当たり最大3名まで乗れます。約100kgまで）



越前海岸の海をのぞいてみよう！体験ダイビング

ダイビングをやってみたい！という初心者の方におすすめ。泳ぎが苦手な方でも安心できるように足の着くところからスタートします。最初にビデオやフリップチャートでレクチャーを受けた後、施設内のプールで練習し、インストラクターと一緒に海中へ。プールや海況が安定した海で、水深6メートルまでのスクーバ・ダイビングが体験できます。南越前の美しい海や可愛い魚たちに出会ってみませんか。

南越前ダイビングパーク

住所：南越前町甲楽城15-28
電話：0778-48-3300
料金：お問合わせください
申込：「南越前ダイビングパーク公式WEBサイト」から申し込みください
利用条件：8歳～
所要時間：3時間
人数：1名～5名

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



「美人の湯」で知られる天然温泉
しきぶ温泉湯楽里

住所：越前市白崎町68-8
電話：0778-25-7800
営業（入浴）時間：6:00–23:00 ※受付は22:00終了
休館日：第2水曜（祝日の場合は翌日）
入館料：大人 600円～、中学生以下 300円、2歳以下 無料



アスレチックや図書館、カフェが揃う総合公園
武生中央公園

住所：越前市高瀬2-7-124
電話：0778-42-7530



四季折々の景色が楽しめるつり橋
かずら橋

住所：池田町土合皿尾14-7-1
電話：0778-44-6878（そばの郷 池田屋）
営業時間：9:00–17:00
休日：冬期（12月～3月頃）、荒天時は通行止め
通行料：大人 300円、小中学生 200円、幼児 無料 ※団体割引有（20名以上2割引）



素朴なおもてなしと郷土料理が人気のホテル
ファームハウス・コムニタ

住所：池田町土合皿尾2-22-1
電話：0778-44-7744
営業期間：チェックイン 15:00～、チェックアウト ～10:00
休日：水曜
宿泊料金：1泊2食 12,000円～ ※素泊まりプランあり

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 7

北前船の歴史と雪国の暮らしを支える越前瓦をつなぐ旅

グループ シニア　南越前町 越前町　通年

旅のポイント

江戸時代、北海道から西日本を結んだ航路は経済の大動脈であり、
この航路を利用した商船は北前船と呼ばれました。
このルートでは「北前船」と、北前船で各地に運ばれ暮らしを支えた「越前瓦」についてひもときます。

MAP





KITAMAE BUNE 1 日本海の大動脈「北前船」について知る

右近家は江戸時代の頃から代々活躍した北前船主。その邸宅は資料館として開放しており、ガイドによる案内を聞きながら知識を深めることができます。館内は庭園や茶室があり、貴重な航海用具や船乗りの衣装などが展示。背後の山腹は庭園となっており、昭和10年に高台に建てられた西洋館からは日本海の絶景を眺めることができます。

北前船主の館右近家
住所：南越前町河野2-15
電話：0778-48-2196
営業時間：9:00–16:00
料金：入館料 500円、ガイド1名につき 1名～9名 1,000円・～29名 1,500円（30名以上は要相談）
休日：水曜、年末年始





ECHIZEN GAWARA 2 雪国の暮らしを守る越前瓦の工場を見学

新谷窯業
住所：越前町小曽原111-15-2
電話：0778-32-2030
営業時間：8:00–17:00
料金：500円
所要時間：約60分
休日：不定休

「越前瓦」は、日本の六古窯の一つである越前焼の産地、越前町で古くから生産されています。こちらでは、粘土の混錬から成形、乾燥、施釉、焼成まで、瓦ができるまでの工程が見学できます。大型の機械が稼働し、1200℃を超える窯が稼働する工場は迫力満点！ダイナミックなものづくりの様子をぜひお楽しみください。

※稼働状況については要問い合わせ








ONE POINT TIPS

越前瓦は東北や北海道でも活躍！？

北前船が各地に寄港する際、船のバランスを維持する重石の代わりに積み込んだのが越前瓦や福井で採石された笏谷石でした。瓦は大変高価な上、雪や氷に強かったことから主に豪商の住宅や神社仏閣で使用され、現在も寄港地として名を残す東北地方や北海道で見ることができます。

旅ナカの楽しみ方



河野北前船主通りを歩く

平成29年に文化庁から「日本遺産」に認定された南越前町河野地区。「河野北前船主通り」には「右近家」のほか、国の重要文化財に指定されている「中村家」や、長屋門が特徴の「刀禰家」など、北前船主の屋敷が並び歴史とロマンを感じながら散策を楽しむことができます。

旅アトの楽しみ方



伝統的古民家の街並みを見る

丹南地域では重厚感のある越前瓦に漆喰の白壁が美しい農家の風景が至るところで見られます。越前町の江波地区は「福井ふるさと百景」にも選ばれた美しい集落。越前大工の技と意匠を感じる伝統的民家が存在し、地域性・独自性に富んだ美しい景観が広がります。

類似プラン

丹南エリアの歴史を深めながら楽しめる類似プランをご紹介します。



歴史ある廃線跡と豊かな自然を満喫する！サイクリングの旅

絶景好き・歴史好き・サイクリング好き・鉄道ファン・廃線マニアの方にオススメ！日本遺産認定ストーリーに登場する「旧北陸線トンネル群」と「今庄宿」を自転車で巡り、体感していただきます。道中には電波の繋がらない区間があり、現代社会からタイムスリップすることができるかも。また、敦賀湾を一望できるスポットからは、絶景を楽しめます。復路は下り坂を駆け抜け、気分爽快！都会では決してできない、非日常的な体験を、南越前町でしてみませんか？サイクリングの後は今庄宿でお土産購入や食事も。今庄宿で利用できる500円分のお買い物券もプレゼントします。





（一社）南越前町今庄観光協会
住所：南越前町今庄74-3-1
電話：0778-45-0074
料金：1,000円（12歳以下は700円）
申込：「じゃらんNet」からお申し込みください
利用条件：小学生以上、健康状態良好な方
※小学生は保護者同伴
所要時間：3時間30分
受入人数：1名～7名

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



越前瓦の展示も。国宝を展示する資料館
織田文化歴史館
住所：越前町織田153-1-8
電話：0778-36-2288
営業時間：10:00–18:00（入館は17:30まで）
休日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始



越前町の特産品や新鮮野菜を販売する道の駅
道の駅パークイン丹生ヶ丘
住所：越前町上川去45-1-7
電話：0778-34-2850
営業時間：10:00–17:00（売店）、11:00–15:00（食事処）
休日：火曜（祝日の場合は営業）



越前の漁師の守り神を祀った洞窟
玉川洞窟観音
住所：越前町玉川
電話：0778-37-0194（越前玉川の宿 岩本屋）
営業時間：9:00–17:00
参拝自由



新鮮な魚介を扱う日本海が目の前のレストラン
歓来
住所：南越前町河野2-16
電話：0778-48-2062
営業期間：11:30–14:30（完全予約制）
休日：水曜（臨時休業あり）

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 8

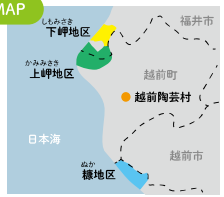
福井の冬を２回楽しめる！越前焼の花瓶づくりと水仙刈り

グループ 女子旅 / 福井市 越前町 南越前町 / 冬 10月～1月

旅のポイント

福井県の伝統的工芸品の一つで、日本遺産に認定されている「越前焼」の花瓶づくり。後日、出来上がった作品を受け取り、冬の越前海岸に咲き誇る水仙刈りを楽しむプランです。世界で一つだけの花瓶に水仙を飾って思い出を残してみませんか。

MAP



問い合わせ先

越前町観光連盟
電話：0778-37-1234
受け入れ人数：～40名
料金：4,200円



1 越前焼のオリジナル花瓶づくり

ECHIZEN YAKI

推奨来訪時期 10月～11月







日本六古窯の一つとして知られる越前焼。越前町の「越前陶芸村」内にある福井県陶芸館では、越前焼の土を使った作陶が体験できます。スタッフが丁寧に教えてくれるので、子どもや初心者の方も安心です。色も6種類から選べるので、自由な発想で世界に一つだけの作品づくりを楽しみましょう。完成は約45日後です。（郵送受け取りも可能）

福井県陶芸館

住所：越前町小曽原120-61
電話：0778-32-2174
（陶芸教室の予約）
営業時間：9:00–17:00（体験可能時間は15:00まで）
休日：月曜、祝日の翌日
所要時間：約90分

2 冬に咲く満開の水仙刈り

SUISEN GARI

推奨来訪時期 12月～1月

来上がった作品を取りに、再び福井へ。季節は冬、越前海岸沿いには一面に可憐な水仙の花が咲いています。国の重要文化的景観にも選ばれた福井市下岬地区、越前町上岬地区、南越前町糠地区で水仙刈り体験。ふわっと漂う豊かな香りに水仙の新たな魅力を感じていただけるはずです。

越前海岸の水仙畑

住所：福井市下岬、越前町上岬、南越前町糠
所要時間：30分～1時間

いい香りに包まれます











ONE POINT TIPS

水仙を通して地域の営みを感じる

越前海岸に咲き誇る日本水仙は全国的にも品質の高いことで知られています。つぼみの状態で市場へ出ていく水仙は、咲いてしまうと出荷できないため、花が開いた水仙は海岸沿いに残されたままでした。地域では水仙の新たな活用方法を考え、草刈りや獣害対策など、地道な作業を通してこの景観を守っています。

旅ナカの楽しみ方



冬の味覚！越前がにを味わう

冬の福井といえば忘れてならないのが「越前がに」。毎年11月6日の解禁日以降は県内の旅館や飲食店が活気づき、越前がにを求めて県内外から多くの人がやってきます。ツアーと合わせてぜひ冬の味覚をお楽しみください。

旅アトの楽しみ方



刈り取った水仙を作った花瓶に生けて旅の思い出に

旅の後は自分で作った花瓶に越前海岸で刈り取った水仙を飾ってお楽しみいただくのもおすすめです。水仙は涼しい場所では1ヶ月以上きれいに咲くため、美しい香りとともに旅の思い出が蘇ってくるはずです。

類似プラン

水仙や越前焼をもっと気軽に楽しみたい方や推奨時期に行けない方に向けたプランもご用意しています。



越前焼を買う

作家ごとに個性豊かな表情が生まれる越前焼。この場所でしか出会えない素敵な作品が並ぶのも産地ならではの魅力です。器との一期一会の出会いを楽しんで。

越前焼の館（越前焼直売所）

住所：越前町小曽原5-33
電話：0778-32-2199 休日：年末年始
営業時間：平日 10:00–16:00、土日祝 9:00–17:00



窯元を訪ねる

越前焼のふるさとを訪れる醍醐味の一つが、窯元の工房めぐり。作業している様子や作品を見学しながら、作家たちとのふれあいもお楽しみいただけます。

越前町観光連盟

住所：越前町厨71-335-1
電話：0778-37-1234（9:00–18:00）



福井県の植物を知る

3000種以上の植物を見ることができるプラントピア。ミニ温室や標本庫、研究室や図書館なども受けられており水仙をはじめ県内の植物についても深く学べます。

福井総合植物園 プラントピア

住所：越前町朝日17-3-1
電話：0778-34-1120 営業時間：9:00–17:00（入園は16:00まで）
休日：火曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/28～1/4）
入園料：一般 310円（280円）、中高生 200円（180円）、小学生 100円（90円）、幼児以下 無料 ※()は団体料金（30名以上）



蓮の花摘み体験

水仙が咲く冬の時期に行けない方は、7月～8月に南越前町で咲く「蓮」の花摘みもおすすめです。田んぼを歩きながらゆったり花摘みをお楽しみください。

地域まるっと体験宿 玉村屋

住所：南越前町今庄82-10
体験料金：1人で体験の場合 3,000円、2人で体験の場合 一人／2,500円、3人以上で体験の場合 一人／2,000円
体験可能期間：7月～8月
問い合わせ：「地球まるっと体験宿 玉村屋」ホームページからお問い合わせください。

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



満開の水仙と白亜の越前岬灯台
越前岬水仙ランド

住所：越前町血ヶ平27-1-2
電話：0778-37-2501
営業時間：9:00–17:00
休日：木曜、11月～3月までの水仙開花期間は無休
園内無料



日本で唯一の越前がにに関する博物館
越前がにミュージアム

住所：越前町厨71-324-1
電話：0778-37-2626 営業時間：9:00–17:00
休日：火曜（祝日の場合はその翌日。ただし、夏休み期間は無休、11月～3月は第2・第4火曜）
料金：中学生以上 500円（400円）、小学生 300円（200円）、未就学児以下 無料 ※()は団体料金（20名以上）



織田信長公が氏神と崇めたお社
劔神社

住所：越前町織田金栄山
電話：0778-36-0404
参拝自由



ぶどう狩りやBBQも楽しめる温泉施設
越前町糸生温泉 泰澄の杜

住所：越前町小倉88-55-1
電話：0778-34-2322
営業期間：日帰り入浴 8:00–22:00（入館は21:00まで）
食事処 11:30–14:00（LO／13:30）
17:30–20:00（LO／19:30）
休日：火曜（祝日の場合は営業）
入浴料金：中学生以上 520円、小学生 310円

TANNAN STORY
History

たんなんを知るストーリー 歴史

数々の時空を超えた壮大なストーリーが隠されている丹南エリア。
歴史を追いながら現地を訪ねると、旅がさらに楽しくなるはずです。

01 越前五山を開いた泰澄大師

泰澄大師は奈良時代、霊峰「白山」や「吉野ヶ岳」をはじめ、丹南エリアにそびえる「日野山」「文殊山」「越知山」の越前五山を開山した僧。14歳の時に夢で見たお告げによって導かれ、片道15km程の山道を走って夜通し修行を行い、朝には家に戻るという苦行難行を続けました。21歳のときには、時の朝廷より鎮護国家法師に任命されると同時に、遥か遠くに望む白い山に、畏敬の念を抱くように。36歳のとき、二人の弟子とともに霊峰白山へ登頂を果たし、千日間にも及ぶ厳しい修行を積んだのでした。55歳のときには、聖武天皇の命により全国で猛威を奮っていた天然痘を収めた功績により「泰澄」の名を賜ります。その後、泰澄は弟子とともに越前はもとより全国各地を歩き、布教活動のほかに病気治療や川に橋をかけ、産業を興し、多くの土地や人々のために尽力しました。



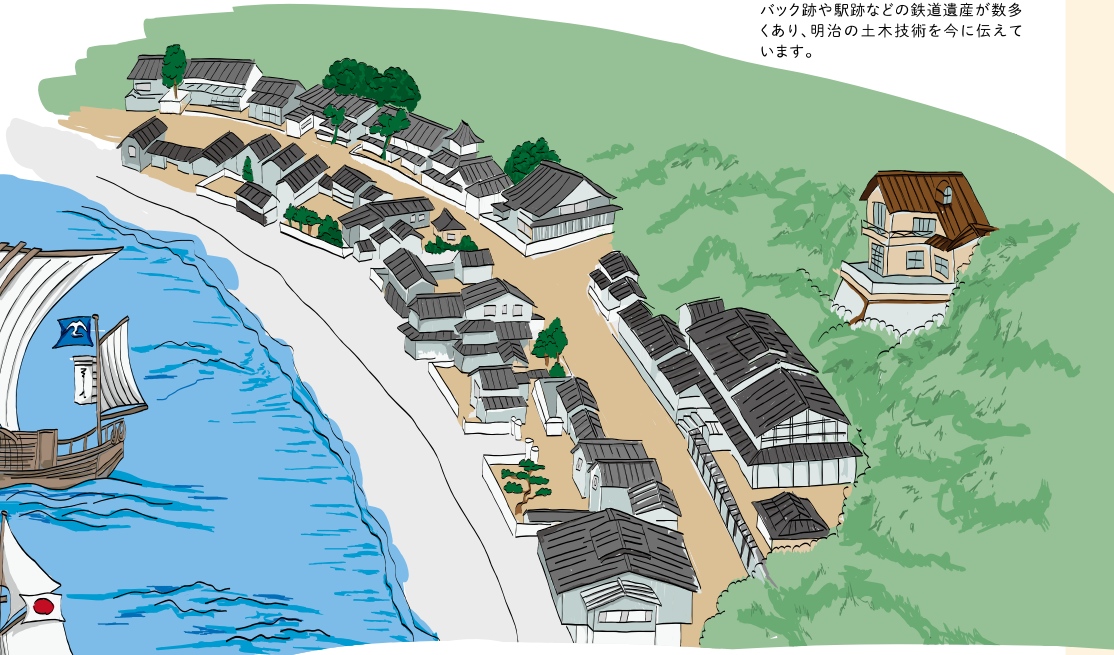
02 経済の大動脈 動く総合商社「北前船」

江戸時代の中頃から明治時代にかけて大量の荷物を運び日本海を運航していた「北前船」。塩や昆布、繊維、鉄、和紙、石…さまざまなものを運び、各地の文化にも大きな影響を及ぼしたことから“動く総合商社”ともいわれています。各地を寄港しながら品物を売買し、大阪と北海道を1往復するだけで多くの利益を得られたのも北前船の特徴の一つ。武士を頂点とした身分制度のあった時代に、庶民でも大金持ちになれると北前船の船乗りを目指す人が後を絶たなかったといわれています。日本海五大船主の一人として知られる右近家は、南越前町出身。天明・寛政（江戸時代）の頃から活躍し、全盛期には八幡丸ほか30余隻を所有。北前船の衰退後は海運の近代化を進めるとともに、海上保険事業に進出。現在の損害保険ジャパン株式会社の前身としても知られています。



03 峠を越え、物流に革命をもたらした鉄道遺産

1896年、敦賀～福井間をつなぐ旧北陸線が開業しました。古来より日本海側の物資は、敦賀から陸路で琵琶湖を経て京都・大阪へ運ばれていましたが、その道は峠を越えなければなりませんでした。鉄道が敷設されたことによってこの地域に物流の革命がもたらされ、峠をトンネルで貫くことで日本海と太平洋の最短ルートが確立。これらの鉄道遺産は姿や形を変えずに、地域に密着した文化財として生き続けています。なかでも、険しい山々と急勾配が続く敦賀と南越前町の今庄の間に掘られた「旧北陸線トンネル群」は圧巻！13基掘られたトンネルのうち11基が現在も残されており、石やレンガ積みの壁面など当時の技術を間近で見ることができます。トンネル群のほかにもスイッチバック跡や駅跡などの鉄道遺産が数多くあり、明治の土木技術を今に伝えています。



04 海とともに生きる北前船の村

南越前町の河野地区は、その昔越前国府の武生と、京への物資輸送の拠点だった敦賀を結ぶ海運で栄えた「海とともに生きてきた村」でした。海岸沿いの「河野北前船主通り」は崖下の狭小な平地にあり、日本海五大船主の一人である「右近家」の豪邸や国重要文化財「中村家住宅」など、かつて栄華を誇った船主たちの屋敷が海岸に沿って帯のように連なっています。海から吹きよせる風を遮るため海側に土蔵を立て、山側に主屋を配置するという屋敷構えは船主邸に見られる特徴の一つ。なかでも右近家の邸宅は、天保時代の構えを基本に明治34年に建て替えられたもので、上方風切妻造瓦葺二階建の豪勢な構えや上方文化を取り入れた繊細な造作を見ることができます。背後の山腹に建てられた西洋館からは、すばらしい日本海を眺めることができます。

FUKUI TANNAN AREA AROUND TOUR 9

漆器の産地ならでは！漆塗りグラスで福井の地酒を飲み比べ

グループ 女子旅 シニア　鯖江市　12月〜3月

旅のポイント

越前漆器の産地として有名な鯖江市河和田地区。漆塗りを施したオリジナル酒器で福井が誇る地酒を飲み比べます。漆や酒器の形によってお酒の味や口当たりがどのように変わるか。その変化をお楽しみください。

MAP



問い合わせ先

一般社団法人SOE
電話:080-7850-5336
料金:2,200円 ※ナビゲート料は別途
所要時間:約40分
受け入れ人数:20名

体験場所

ラボーゼかわだ
住所:鯖江市上河内町19-37-2
電話:0778-65-0012



漆塗りについて知る

まずは産地を知り尽くすナビゲーターから越前漆器の歴史や漆の特徴、酒どころ・福井の地酒について説明していただきます。ツアーで使用する酒器は、ワイングラスメーカーが開発した「日本酒専用のグラス」。ワイングラスのような見た目ですが、日本酒を飲むのに最適な形状をしています。今回は越前漆器の産地ならではの取り組みとして、このグラスに職人が漆塗りを施しました。このグラスでお酒を飲むとどんな味になるのでしょうか…？





いざ、飲み比べ！飲み口の変化を味わう

飲みたい地酒が決まったら、まずは通常のグラスで地酒を飲んでみます。続いて、漆塗りをしていない日本酒専用グラス、最後に漆塗りを施した日本酒専用グラスで同じ地酒を飲み比べます。素材や形など飲み口の違いによって香りが鼻に抜けやすくなったり、口あたりがまろやかになったりと、まるで別の日本酒を飲んでいるような感覚になる人も。酒器の違いによる日本酒体験をぜひお楽しみください。









ナビゲーター
安田 昌平さん
（一般社団法人SOE）

ONE POINT TIPS

米の生産が盛んで水がきれいな福井県では、現在も約30の蔵元で酒造りが行われています。とっておきのお酒をより美味しく味わうためにこだわりたいのが酒器。漆塗りの製品は木製のお椀が多いので、「グラス × 漆塗り」は新鮮に感じる方も多いのではないでしょうか。漆のポテンシャルを感じていただきながら、お気に入りの地酒と酒器を見つけてみてくださいね。

旅ナカの楽しみ方



丹南の工芸をさらに深める

河和田エリアにある「TOURISTORE」では、私設観光案内所としてスタッフが見学可能な工房やショップを紹介しています。レンタサイクルも行っているので、近隣の工房をめぐりながら福井のものづくりについて知識を深めるのもおすすめです。
（住所:鯖江市河和田町19-8 電話:0778-25-0388 営業時間:12:00–18:00 休日:火曜、水曜）

旅アトの楽しみ方



丹南の酒蔵をめぐる

福井の地酒の魅力にふれた後は、丹南エリアの酒蔵をめぐるのもおすすめです。鯖江市・越前市・越前町エリアには「梵」ブランドで有名な「加藤吉平商店」や創業1716年の老舗「丹生酒造」などさまざまな酒蔵が点在しています。

類似プラン

福井の地酒をもっと楽しみたい、漆塗りについて深めたいという方に向けたプランもご紹介します。



好きな器で福井の地酒を堪能する

JR鯖江駅前で100年以上続く老舗「久保田酒店」は、県内4つ・新潟県2つの蔵元から仕入れた約100種類のお酒を取り扱っています。2018年4月にリニューアルオープンした店内では、酒樽に使われる杉の木材を活用した内装で日本酒バーカウンターも設置。お好きな日本酒飲み比べ3種コースや地元の伝統工芸の酒器から好きなものを選んで飲めるコースなども充実。電車待ちの時間にもおすすめです。

久保田酒店
住所:鯖江市旭町1丁目1-4 電話:0778-51-0252 営業時間:9:00–19:00
休日:日曜（連休の場合は最終日がお休み） 料金:500円〜 ※プランにより異なる



陶器に漆を塗ってオリジナル漆器に

鯖江市河和田地区にある昭和元年創業の漆器工房の老舗「錦古里漆器店」は、2019年に漆器の販売や本格的な漆塗り体験が楽しめる工房としてリニューアル。なかでも、越前焼（陶器）に漆を塗る陶漆体験が人気です。従来の「漆器」と違い、陶器に塗ることで独特のツヤをまとい、唯一無二の作品に。多少のムラも味として楽しめると若い世代からグループ、シニア世代まで幅広く人気を集めています。

錦古里漆器店
住所:鯖江市河和田町19-8 電話:0778-65-2233
営業時間:9:00–17:00 休日:日曜 料金:5,500円

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



越前漆器の歴史や技術を紹介する施設
うるしの里会館
住所:鯖江市西袋町40-1-2
電話:0778-65-2727
営業時間:9:00–17:00
休日:第4火曜、年末年始（12/29〜1/3）
入場無料



200年以上8代にわたって続く老舗漆器店
漆琳堂
住所:鯖江市西袋町701
電話:0778-65-0630
営業時間:10:00–16:00
休日:不定休



伝統の技とデザイン性を融合した漆器を提案
土直漆器（直営店）
住所:鯖江市西袋町214
電話:0778-65-0509
営業時間:10:00–17:00
休日:水曜



漆の天井絵が見事な漆器のまちの神社
敷山（漆器）神社
住所:鯖江市河和田町15-6
電話:0778-65-1987
参拝自由、見学の場合は事前に要問い合わせ

10

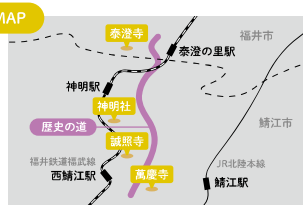
旧北国街道を歩きながら、知られざるまちの歴史に迫る
泰澄寺(たいちょうじ)～萬慶寺(ばんけいじ)

グループ シニア

福井市 鯖江市

春・秋 3月～5月 9月～11月

MAP



問い合わせ先　丹南広域観光協議会　電話：0778-23-4550

旅のポイント

かつて北陸の基幹道路だった「北国(ほっこく)街道」。現在も福井市～鯖江市につながる「歴史の道」を歩くと、さまざまな場所に当時の痕跡が残っています。地理や歴史好きな方、観光地めぐりとは一味違った体験をしたい方におすすめです。

START!

10:00



泰澄大師(たいちょうだいし)ゆかりの地からスタート

旅のスタートは福井市三十八社町にある泰澄寺から。奈良時代、北陸の霊峰白山を開山した高僧・泰澄大師生誕の地です。ここから鯖江市方面に続く「歴史の道」は昔の北国街道の一部。住宅が立ち並ぶ道沿いにも、行脚していた人の休憩所となっていた「一里塚」や旅の安全を祈願して祀られたお地蔵さん、北国街道の名前が入った橋など、昔の面影が残っています。







12:00



過去から現代へと歴史の流れを感じる道

歴史の道」をゆっくり歩くこと1時間。鯖江市に入りました。細い路地を歩くと、現代の暮らしの中にも昔ながらのお屋敷や土蔵造りの醤油屋さん、宿場跡などが見られます。福井鉄道「神明駅」近くの神明社にある約400年前の茅葺の家「旧瓜生家住宅」では、ボランティアガイドが常駐。囲炉裏を囲みながら、鯖江の歴史について話を聞くこともできます。







15:30



商店街を通って終着点の萬慶寺へ

いよいよ鯖江市街地へ！中心エリアには7つの商店街があり、南北朝時代から続く「誠照寺(じょうしょうじ)」の参道だった歴史もあります。商店街で食を堪能するもよし、買い物を楽しむもよし。周辺には伝統的な建造物もあり、寄り道にもぴったりです。商店街を抜けて、鯖江藩間部家の菩提寺である萬慶寺に到着したらこの旅のゴール！帰りは路面電車の福井鉄道に乗って来た道を戻ります。







GOAL!

16:00



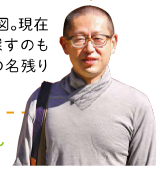
出典：福井県『福井県史 資料編16上』



出典：山口信郎、竹内信夫編著『ふるさとの想い出写真集 明治大正昭和 鯖江』

古地図片手に歴史散歩を楽しもう！

旧北国街道の散策に欠かせないのが古地図。現在と昔の場所を見比べて共通点や違いを探すのも楽しみの一つ。何気ない景色の中に当時の名残りがたくさんあることがわかります。



ナビゲーター 藤川 明宏さん
（朝日観音福通寺住職・福井市学芸員）

旅ナカの楽しみ方



鯖江グルメを楽しんで

まち歩きの醍醐味はなんといっても「グルメ」。今回歩いたコースでも地元で100年以上続くレトロな食堂や売り切れ必至のスイーツなど、思わず立ち寄りたくなるお店がたくさんありますよ！

旅アトの楽しみ方



北国街道はまだまだ続く

北国街道は京の都から滋賀県を経て福井県に入り、新潟県まで続く全長約520kmの街道です。丹南(たんなん)地域にまだまだ残されている北国街道ゆかりの場所をめぐるのもおすすめです。

類似プラン

丹南の歴史や風土を感じたい方に向けた類似プランをご紹介します。



泰澄大師(たいちょうだいし)ゆかりの越知山(おちさん)

越前五山の一つ「越知山」は泰澄大師が修行した山。登山初心者や家族連れも気軽に登ることができる山で、四季折々の景色や草花も見どころです。越前町・小川集落から越知神社までの登山道には石仏などの歴史遺産も。20年以上越知山を中心に活動を続けている泰澄塾のガイドとともに、1300年前の痕跡をたどることができます。

越知山泰澄塾

住所：越前町田中11-10
電話：090-2833-0439
料金：ガイド代 1名／5,000円
所要時間：片道約2時間半～3時間
開催期間：4月～11月
※天候により中止あり
人数：～10名

近隣スポット

旅の途中に立ち寄りたいおすすめのスポットをご紹介します。



出会えたらラッキー!?売り切れ必至のクローネ
ラ・クローネ

住所：鯖江市神明町2-1-4
電話：080-8699-7065
営業時間：10:00–18:00(売切れ次第終了)
休日：月曜、水曜、金曜、日曜(臨時休業あり)



フランス文化を取り入れた大福あんぱんが人気
ヨーロッパンキムラヤ

住所：鯖江市旭町2-3-20
電話：0778-51-0502
営業時間：9:30–18:00
休日：日曜、不定休



100年以上の歴史を誇る町の定食屋さん
味見屋

住所：鯖江市本町2-2-19
電話：0778-51-0449
営業時間：10:30–14:30、16:30–19:30
休日：木曜



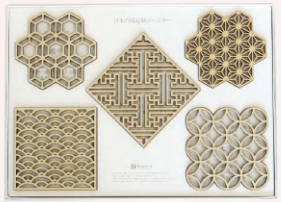
爆発的人気！歩きながら食べられるソースカツ丼
ミート&デリカささき

住所：鯖江市本町3-1-5
電話：0778-52-4129
営業時間：10:00–19:00
休日：日曜

SOUVENIR

たんなんで見つけた お土産たち

旅の楽しみの一つがお土産選び。
買って楽しい、もらって嬉しい
たんなんエリアのお土産を
ご紹介します。



縁起柄・木製コースター ギフトセット ····· 8,800円

福井の由来は「福が居る」と縁起を担いだものだったそう。越前箪笥の技術を使った縁起の良い和柄コースターはお土産に最適。

kikoru(小柳箪笥)　越前市武生柳町10-7　0778-22-1854



おにぎりの塩（こんぶ・熟成塩・紅しそ）各360円

越前海岸の海水から取り出した「越前塩」を使ったおにぎりにぴったりの塩。ぞうすいやおかゆにもお楽しみいただけます。

越前塩　越前町厨26-27／0778-37-2553



イヤーカフ ····· 2,970円～
ブレスレット ····· 2,970円
ペンダントルーペ ····· 2,970円

眼鏡の素材である天然素材のアセテートでできたアクセサリー。一つひとつ模様が違い、肌に優しく、軽やかな着け心地が魅力です。

KISSO　鯖江市丸山町4-305-2／0778-54-0355



moln（Sサイズ） 2,750円

molnとは、スウェーデン語で「雲」の意味。一枚一枚丁寧に漉き上げた和紙を、木型に貼付けた雲のように軽い和紙の箱です。

やなせ和紙　越前市大滝町24-21　0778-43-0639



雪きらら 純米大吟醸 さかほまれ 3,630円

福井県農業試験場が開発した酒米「さかほまれ」を使った純米大吟醸。芳醇な味わいながらすっきりとした後味が楽しめます。

畠中酒造　南越前町今庄109-14　0778-45-0028



越前今庄そば（半生） 880円

昔ながらの石臼で挽いた今庄産そば粉を100%使ったお土産用のそば。半生タイプでご自宅でも香り高いそばの風味を楽しめます。

ほっと今庄 おばちゃんの店　南越前町今庄9-13／0778-45-1144

かきもち 350円

軽い食感で、優しい甘さのかきもち。「まちの市場 こってコテいけだ」やかずら橋駐車場の「ぬくもり茶屋」などで購入できます。

まちの駅 こってコテいけだ　池田町稲荷36-25-1／0778-44-8050







鯖へしこ刺身 ···· 880円
鯖へしこ切身 ···· 486円

鯖のへしこを1尾丸ごと持って帰るのは大変…という方には、ご自宅でも気軽に楽しめる切身や刺身タイプの「へしこ」がおすすめ。

山下水産　越前町小樟3-69-1／0778-37-0058



山うに豆（中辛・辛口） ····· 各206円
山うに（柚子赤） ····· 1,080円

柚子、唐辛子、塩から作られた鯖江市・河和田地区の郷土料理「山うに」は鍋やうどんにぴったり。山うにを使った豆菓子も人気。

越前隊　鯖江市尾花町60-35-5／0778-42-7942



パンダどらやき 160円

鯖江市・西山動物園の人気者「レッサーパンダ」がモチーフのどらやき。ふんわりした生地につぶあんがぎっしりで食べ応え満点。

安価堂　鯖江市神中町1-2-15　0778-51-1235

※金額は変更することがございます

観光ボランティアガイドと まちをめぐろう！

地域の魅力を住民ならではのリアルな目線で
観光客にまちの魅力を伝えている観光ボランティアガイド。
地域を知り尽くし、我がまち大好き人たちが、
皆様のお越しを心からお待ちしています。



産業観光ボランティアガイド

電　　話　0778-52-2323／一般社団法人鯖江観光協会
住　　所　鯖江市桜町3-950
営業時間　9:00–17:00
料　　金　無料（ただし交通費として1,000円）
決済方法　当日現金払い
駐 車 場　西山公園駐車場、卿陽会館前駐車場（2時間以内無料）



観光ボランティアガイド

電　　話　0778-23-8900／一般社団法人越前市観光協会
住　　所　越前市府中1-2-3 センチュリープラザ1階
営業時間　8:30–17:15
定 休 日　土曜、日曜、祝日
料　　金　無料（ただし交通費として1,000円）
決済方法　当日現金払い
予約可能日　1週間前まで2名様から予約可能



今庄観光ボランティアガイド協会

電　　話　0778-45-0010
住　　所　南越前町今庄74-3-1（JR今庄駅構内）
営業時間　8:30–18:00
料　　金　半日 1,500円～（ご案内する人数によって料金が異なりますので、詳しくは今庄観光ボランティアガイド協会までお問い合わせください）
決済方法　当日現金払い
駐 車 場　JR今庄駅付近
予約可能日　1週間前まで



河野（こうの）北前船主通り案内の会

電　　話　0778-48-2196／北前船主の館右近家
住　　所　南越前町河野2-15
営業時間　9:00–16:00
定 休 日　水曜、年末年始
料　　金　1名～9名 1,000円、10名～29名 1,500円（30名以上は要相談）
決済方法　当日現金払い
駐 車 場　あり
予約可能日　3日前まで（予約がなければ当日の申込可能）



越前町観光ボランティアガイド「越前かたりべの会」

電　　話　0778-34-8720／越前町役場商工観光課
住　　所　越前町西田中13-5-1
営業時間　8:30–17:00
定 休 日　土曜、日曜、祝日
料　　金　無料（ただし交通費として1,000円）
決済方法　当日現金払い
予約可能日　1週間前まで2名様から受付可能



観光ボランティアガイドつるが（旧北陸トンネル群・トンネルガイド）

電　　話　0770-22-8167／（一社）敦賀観光協会
住　　所　敦賀市港町
営業時間　8:30–17:15
定 休 日　土曜、日曜、祝日
料　　金　無料（ただし交通費として、一般ガイド:2時間／1,000円、専門ガイド:要相談）
決済方法　当日現金払い
予約可能日　1週間前まで2名から受付可能

たんなんの四季を楽しむ

花や絶景など、一年を通してさまざまな表情を見せる丹南。
いつ訪れても驚きと感動があります。

SUPRING
春

厳しい冬を乗り越え、丹南エリアにも待ちに待った春が到来。雪が残る山をバックに咲き誇る桜や菜の花をはじめ、さまざまな花を見ることができます。



越前岬水仙ランド 越前町

冬が見頃の水仙ですが、
春には桜や穏やかな日本海の絶景など、
贅沢な景色を堪能できます。

SUMMER
夏

丹南には歴史や信仰と関係が深い名所が数多くあります。暑い夏も清らかな水辺で涼を感じながら、丹南の風土を感じてみてはいかがでしょうか。



花はす公園 南越前町

信仰にあつい福井では仏教に欠かせない
花はすの産地があります。7月～8月開催の
「はすまつり」も人気です。

吉野瀬川 越前市



太田橋から野上橋まで、両岸から水面に向かって枝をのばすような見事な桜並木が続く桜の名所。

西山公園 鯖江市



日本海側随一のつつじの名所。毎年5月の「さばえつつじまつり」では約20万人もの来場者で賑わいます。

陶の谷駅跡 越前町



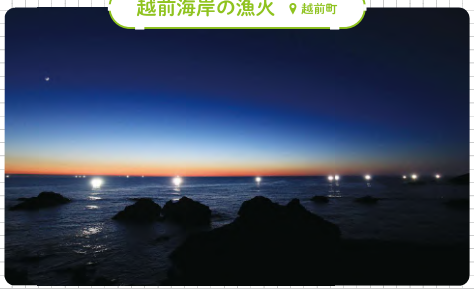
かつての福井鉄道鯖浦線の廃駅。春には桜が満開となり、越前町内でも指折りの花見スポットとして人気があります。

レインボーパーク南条 南越前町



日野川沿いの道路に沿って続く桜並木。ピクニックを楽しむ人も多く、夜にはライトアップも行われます。

越前海岸の漁火 越前町



6月のイカ釣りシーズンを迎えると沖合では連夜、漁船の漁火が瞬き、日本海を幻想的に照らします。

治左川 越前市



県内きっての清流・治左川では、水質が良い場所でしか育たない白くて可憐な梅花藻の花が咲きます。

龍双ケ滝 池田町



「日本の滝100選」の一つ。高さ60mの岩肌を勢いよく水が流れ落ちる様子は壮観の一言で、夏の涼を感じます。

河和田地区のホタル 鯖江市



県内有数のホタル生息地、鯖江市河和田地区。6月初旬にはゲンジボタルが舞い、幻想的な風景が広がります。

AUTUMN

秋

有名な場所から穴場まで数多の紅葉名所が点在する丹南エリア。人々を魅了してきた美しい景色はどこを切り取っても美しく、しばし時を忘れてしまうほど。

花筐公園　越前市

世阿弥の能『花筐』に由来する公園。
丹南地域有数の紅葉のメッカで
山道を鮮やかなモミジが彩ります。

響陽庭園（西山公園）　鯖江市



西山公園内にある響陽庭園は、1600本のモミジが色づく北陸有数の紅葉の名所。秋の期間はライトアップも行われます。

かずら橋　池田町



全長44メートル、高さ12メートルの全国的にも珍しいカズラのつり橋。秋には美しい紅葉が楽しめます。

藤倉山　南越前町



登山客に人気の藤倉山。今庄のまち並みや北陸本線も見えるため、鉄道好きにも人気のスポットです。

越前陶芸村　越前町



12万平方メートルにもおよぶ陶芸公園。夜のライトアップでは、日本庭園や紅葉を色鮮やかに染め上げます。

WINTER

冬

丹南の中でも、とりわけ魅力が増すのは雪の季節かもしれません。この時期ならではの伝統文化や美しい景色など、冬の風物詩をお楽しみください。

五箇のまち並み　越前市

和紙の産地・五箇地区は、
雪に強い越前瓦で葺いた民家が数多く残り、
独特の景観が形成されています。

越前海岸　越前町・南越前町



強い北風が吹き付ける冬の越前海岸。岩場に打ち寄せた波が泡立つ「波の花」が見られることもあります。

水海の田楽能舞　池田町



池田町水海に伝わる伝統行事。毎年2月15日、厳寒の鵜甘神社の拝殿にて厳かな雰囲気の中、地元住民が舞を奉納します。

今庄つるし柿　南越前町



南越前町に伝わる燻製して作る珍しい干し柿。一斉に干し出された様子は初冬の風物詩となっています。

梨子ヶ平千枚田水仙園　越前町



全国的にも珍しい水仙による棚田。冬には白い絨毯のように咲き誇る水仙や美しい雪景色が見られます。

たんなん イベントガイド

丹南（たんなん）エリアで開催される注目のイベントについてご紹介します



神と紙のまつり

5月上旬　越前市

越前市の「越前和紙の里通り」にて毎年5月3日から5日までの3日間にわたり開催される「神と紙のまつり」。このお祭りは、約1500年前に紙漉きの技術を伝えたとされている紙祖神・川上御前を祀る岡太神社・大瀧神社の春例祭となっています。奥の院に鎮まれる紙の神様「川上御前」を神輿で里宮までお迎えする「お下り」、川上御前を神輿に移し、奥の院まで送る「お上り」が執り行われます。また、期間中は万灯で飾りつけされた和紙の里通りで、年に一度の和紙のはかり売りなども開催され、県内外の人で大変賑わいます。

開催日：5/3～5/5
開催地：和紙の里通り
住所：越前市新在家町
お問い合わせ：0778-43-0875（福井県和紙工業協同組合）

WEB サイトは こちら

越前陶芸まつり

5月下旬　越前町

「越前陶芸まつり」は、越前焼の産地、越前町にある越前陶芸村にて開催されます。このお祭りは県内外から10万人以上もの来場者で賑わう県内屈指の陶器市とされています。陶器市では越前焼の窯元が一堂に集まり、新作をはじめ数多くの越前焼を手頃な価格で販売。職人たちと交流を楽しみながら、自分のお気に入りの陶器が見つかること間違いなしです。ほかにも、特産品バザーの開催やワクワクこどもあそびコーナーなど、家族連れでも楽しめる内容となっており、のどかな越前陶芸村を一日中満喫することができます。

開催日：5月下旬
開催地：越前陶芸村
住所：越前町小曽原
お問い合わせ：0778-32-2000（越前陶芸祭実行委員会）

WEB サイトは こちら





めがねフェス

6月　鯖江市

100年以上の歴史を持つめがねの一大産地・福井県鯖江市でおこなわれる、めがね好きのための、めがねを楽しむ、めがねづくしのフェスティバル。2014年にスタートし、めがね愛好家を中心に話題を集めています。「めがねフェス」では「めがねよ、ありがとう。」を合言葉に、使わなくなっためがねを供養する「めがね供養」、1分間でどれだけめがねをかけられるか勝負する「メガネリンピック」、カレーやパン、パフェまでめがねモチーフの「めがねグルメ」など、とにかくめがね尽くしのイベントが盛りだくさんです。

開催日：6月（変更あり）
開催地：めがねミュージアム、
　　鯖江市文化センター前駐車場特設会場
住所：鯖江市新横江2-3-4
お問い合わせ：0778-52-9111（めがねフェス実行委員会）

WEB サイトは こちら



千年未来工藝祭

8月下旬　越前市

「千年未来工藝祭」は、越前市の伝統工芸をはじめ、ハンドメイド、ワークショップ、飲食、音楽など、全国各地の工藝・手仕事の魅力ある逸品が、地域を越えて集結。若者たちに作り手の技や製品、人柄に触れてもらい、工藝や手仕事を身近に感じてもらうとともに、次世代への継承のきっかけづくりを目指すイベントです。人、技、地域、過去から現在、そして未来など、さまざまな点をつなぎ、結び付けることがこの工藝祭の最大の目的です。世界に誇れる「モノづくりのまち」越前市から、さまざまなクラフトの魅力をお伝えします。

開催日：8月下旬
開催地：越前市アイシンスポーツアリーナ
住所：越前市高瀬2-8-23
お問い合わせ：info@craft1000mirai.jp
　　（クラフトフェス実行委員会）

WEB サイトは こちら

RENEW（リニュー）

10月中旬　鯖江市・越前市・越前町

「RENEW」は、鯖江市・越前市・越前町で開催される、持続可能な地域づくりを目指した工房見学イベント。会期中は、越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前箪笥（たんす）・越前焼・めがね・繊維の7産地の工房・企業を一斉開放し、見学やワークショップを通じて、作り手の想いや背景を知り、技術を体験しながら商品の購入を楽しめます。会場では全国各地のローカルプレーヤーが産地に集うマーケット「まち／ひと／しごと -Localism Expo Fukui-」やトークイベントを通して、地域のあり方・暮らし方にもふれられます。

開催日：10月中旬（変更あり）
開催地：鯖江市、越前市、越前町全域
住所：鯖江市西袋町40-1-2
　　（総合案内 うるしの里会館）
お問い合わせ：080-7850-5336（RENEW事務局）

WEB サイトは こちら





いけだ食の文化祭

11月　池田町

毎年11月初旬に開催されている、食や体験のイベント。長年、町独自の厳しい基準で米や野菜をつくり、高い評価を得ている池田町。そのまち全体を会場に、農産物を使った定食やお菓子、恵まれた山の資源であるジビエを使用した料理などが味わえるお店が約50店舗出店します。味噌づくりや野菜の収獲、農業機械の乗車などの体験や、池田町の木を使った木工体験、米俵1俵を持ち上げられた方には池田町の新米プレゼントなど、さまざまなコンテンツが目白押し。色づく山野と旬の食を存分に楽しめます。

開催日：11月
開催地：池田町全域
お問い合わせ：0778-44-8210
　　（池田町役場　農村政策課）

WEB サイトは こちら

［ご注意］感染症拡大防止対策のため、内容が変更となる可能性があります。

たんなんなんだ

タクシーでまわるモデルコース

丹南エリアに電車で訪れ、タクシーでめぐる旅。
地域をよく知るプロのドライバーに
おまかせください。



A COURSE 古の街道・鉄道・海道を巡る

エリア 南越前町／越前市
所要時間 約5時間

江 戸時代に近江米原（滋賀県）から直江津（新潟県）を結ぶ重要な街道だった北国街道。南越前町・今庄は、その峠越えに欠かせない宿場町として栄えました。時代が変わり、人や物の輸送が鉄道になっても、今庄は鉄道輸送の要衝として重要な役割を果たしてきました。一方、越前海岸の南端に位置する南越前町・河野も、江戸時代から明治時代にかけて北前船の海運業で栄え、日本海沿岸有数の北前船主を輩出しました。北前船で財を成した右近家が海上保険業を展開していくストーリーにロマンを感じる人も多いはず。鉄道・海道の歴史をたどる、タクシーならではのコースとなっています。

10:30 今庄駅・今庄まちなみ情報館
10:50 今庄宿（散策） p.12
11:40 今庄宿内（昼食）
13:00 旧北陸線トンネル群（散策） p.11
14:00 北前船主の館右近家（見学） p.21
15:30 武生駅（解散）

B COURSE うるしの里・河和田で塗り箸を品定め 舟盛りの刺身と露天風呂を満喫

エリア 鯖江市／越前町／越前市
所要時間 約5時間半

越 前海岸の海の幸は「越前がに」だけではなく、新鮮な地物の刺身も絶品！これにあわせて、美味しい料理には、それを引き立てる食器も大事になります。越前漆器の産地・鯖江市河和田では塗り箸を、越前焼の産地の陶芸村では醤油皿を選び、それを携えて越前海岸に向かいます。海の幸を存分に堪能した後は、越前がにミュージアムでかにの生態を学ぶもよし、目の前の温浴施設で海を眺めながら露天風呂に浸かるもよし。越前海岸を満喫できるコースです。

10:00 鯖江駅
10:25 土直漆器（買物） p.28
11:25 越前陶芸村（買物） p.24
12:15 越前海岸の旅館（昼食） p.15
13:05 越前がにミュージアム（見学・買物） p.24
15:10 蔵の辻（散策後・解散） p.42

C COURSE 池田の自然、歴史、文化を満喫

エリア 越前市／池田町
所要時間 約5時間半

都 会を離れ、池田の美しい自然のなかで1日ゆったりと過ごすコースです。昼食は越前名物のおろし蕎麦や山菜、川魚など、池田ならでは旬の食材が味わえるほか、温泉も楽しめます。食後は、かずらで編んだ吊り橋を渡ったり、近くの遊歩道を散策し、須波阿須疑神社へ。樹齢千数百年の大杉の迫力に圧倒されるはずです。

10:00 武生駅
10:50 龍双ケ滝（見学） p.34
11:30 善徳寺（参拝）
12:00 冠荘（昼食・入浴） p.43
13:30 かずら橋・川沿いの遊歩道（散策） p.20
14:10 須波阿須疑神社・稲荷の大杉（参拝） p.14
15:20 蔵の辻（散策後・解散） p.42

D COURSE じっくり体験・越前の伝統工芸の奥深さを学ぶ

エリア 鯖江市／越前市
所要時間 約6時間半

福 井県丹南地域は和紙、刃物、陶器、漆器、箪笥など、日本の伝統工芸が集積したエリアです。なかでも、じっくりと時間をかけて職人さんに技術を教わり、交流しながら伝統工芸を体験できる工房などが多くあることでも注目を集めています。写真映えする自分だけの作品をつくり、SNSなどで発信してみませんか。

10:00 鯖江駅
10:25 うるしの里会館（体験） p.41
12:00 今立地区内（昼食）
13:00 パピルス館（体験 ※選択） p.7,8
13:15 タケフナイフビレッジ（体験 ※選択） p.6
16:10 越前和紙の里（買物） p.8
16:30 武生駅（解散）

丹南エリア タクシー会社

鯖江市

鯖江タクシー
住所：鯖江市本町1-2-10
電話：0778-51-2822

相互タクシー
住所：鯖江市桜町3-1-1
電話：0778-51-0238

南越前町

今庄タクシー
住所：南越前町今庄75-39-2
電話：0778-45-0038

越前町

越前タクシー
住所：越前町道口8-43
電話：0778-37-1239

朝日タクシー
住所：越前町朝日1-6-7
電話：0778-34-0037

越前市

武生タクシー
住所：越前市府中1-12-29
電話：0778-22-0012

小松タクシー
住所：越前市小松1-4-7
電話：0778-22-0585

白山交通
住所：越前市広瀬町144-7-1
電話：0778-21-2500

ヤマトタクシー
住所：越前市粟田部町35-4-12
電話：0778-42-0860

丸越タクシー
住所：越前市府中1-4-35
電話：080-8696-3799

観光スポット 鯖江市



新鮮な野菜やめがね、漆器が揃う
道の駅「西山公園」
住所：鯖江市桜町3-950
電話：0778-51-8181
営業時間：9:00–18:00
定休日：年末年始



間部詮勝ゆかりの日本庭園
西山公園（鄕陽庭園）
住所：鯖江市長泉寺町1-10
電話：0778-51-1001（鯖江市公園管理事務所）
入園自由



レッサーパンダの飼育数日本一
西山動物園
住所：鯖江市桜町3-8-9
電話：0778-52-2737
開園時間：9:00–16:30
休日休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
入園料：無料



漆器づくりの見学や体験も
うるしの里会館
住所：鯖江市西袋町40-1-2
電話：0778-65-2727
営業時間：9:00–17:00
定休日：第4火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料金：絵付け 1,650円、沈金 2,200円、拭き漆 2,970円



木綿布「石田縞」の体験ができる
石田縞手織りセンター
住所：鯖江市糺町32-1-1
電話：0778-52-1880
営業時間：見学 9:00–17:00、体験 10:00–16:00
定休日：土曜、日曜、祝日、年末年始
入場料：無料



鯖江のまちなかにあるカフェ＆ホステル
La Tempo
住所：鯖江市本町1-3-19
電話：0778-42-8839
営業時間：カフェ 11:00–17:00
定休日：水曜



めがねづくしの宿
SABAE MEGANE HOUSE
住所：鯖江市別司町31-17
電話：090-5685-1414
宿泊料金：1泊目 55,000円（5名利用で1名あたり11,000円）
2泊目 27,500円（連泊割で50%OFF）



越前五山の一つ
文殊山
住所：鯖江市南井町（南井登山口）、大正寺町（大正寺登山口）
散策自由



近松門左衛門が幼少期を過ごした地
近松の里
住所：鯖江市吉江町一帯
散策自由



「すりばちやいと」で無病息災を祈願
中道院
住所：鯖江市長泉寺町2-7-7
電話：0778-51-1870
参拝自由



歩道にめがねの仕掛けがいっぱい！
メガネストリート
住所：JR鯖江駅～めがねミュージアム、JR鯖江駅～サンドーム
電話：0778-53-2245
散策自由



鯖江のめがねがすべてわかる
めがねミュージアム
住所：鯖江市新横江2-3-4 めがね会館
電話：0778-42-8311
営業時間：ショップ 10:00–19:00、博物館・工房 10:00–17:00、カフェ 10:00–16:00
定休日：水曜、年末年始
入場料：無料

観光スポット 越前市



寝殿造の釣殿をしつらえた公園
紫式部公園
住所：越前市東千福町20-369
電話：0778-22-3021（越前市都市計画課）
入園自由



本願寺派の由緒ある寺
出雲山 御堂 陽願寺
住所：越前市本町3-10
電話：0778-22-0981
拝観時間：9:00–16:00（4月～12月の土日祝のみ）
拝観料：一般 500円、中学生 300円、小学生以下 無料



絵本作家かこさとしの作品が揃う
かこさとし ふるさと絵本館「砺」
住所：越前市高瀬1-14-7
電話：0778-21-2019
営業時間：10:00–18:00
休館日：火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
入場料：無料



いわさきちひろの生家を公開
「ちひろの生まれた家」記念館
住所：越前市天王町4-14
電話：0778-66-7112
営業時間：10:00–16:00
休館日：火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料：一般 300円、高校生以下 無料



万葉集ゆかりの地
万葉の里 味真野苑
住所：越前市余川町
電話：0778-27-7800（万葉菊花園）
入園自由



さまざまな仏様が参拝者を癒す
金剛院
住所：越前市深草2-2-37
電話：0778-22-7188
参拝自由



幅広い農業体験ができる
ロハス越前
住所：越前市府中1丁目11-2 市民プラザたけふ3階
電話：090-2125-0879
営業時間：9:00–17:00
体験内容：味噌作り、そば打ち、野菜収穫体験等



武生 IC すぐ近く。団体客も対応可能
和風レストラン灘雅
住所：越前市庄町36-1-1
電話：0778-22-3700
営業時間：11:00–20:30（平日14:30–16:30準備時間）
定休日：不定休



越前打刃物の歴史がわかる
刃物の里
住所：越前市池ノ上町48-6-1
電話：0778-22-1241
開館時間：9:00–17:00
休館日：火曜、12/29～1/3
入館料：無料



越前箪笥の技術を紹介
越前箪笥会館
住所：越前市本町1-19
電話：0778-22-7070
見学時は電話にて要問い合わせ



長床式拝殿は国の重要文化財指定
大塩八幡宮
住所：越前市国兼町22-2
電話：0778-23-8074（8:30–18:00）
開館時間：9:00–17:00
初穂料：300円～（御朱印代）



北陸新幹線駅前の道の駅
道の駅「越前たけふ」
住所：越前市大屋町38-5-1
電話：0778-43-5661
営業時間：レストラン 11:00–22:00（LO／21:30）
休館日：第2水曜、元日
入館料：無料



お餅を使った多彩なメニュー
おもちの母屋
住所：池田町稲荷37-8-1
電話：0778-44-8338
営業時間：11:00–15:30
定休日：月曜、年末年始



ジビエ料理専門店と農家民宿
酔虎 夢
住所：池田町土合皿尾4-5-9
電話：090-9768-5300
営業時間：食事 11:00–14:00
※土日祝のみ営業 その他の日程・冬期は予約に応じて営業
宿泊料金：1泊2食（山賊丼コース）1名 8,000円、（宴会コース）12,000円、素泊まり 5,000円 ※宿泊は1日1組限定



かずら橋を眺めながらそばに舌鼓
そばの郷 池田屋
住所：池田町土合皿尾14-7-1
電話：0778-44-6878
営業時間：11:00–15:00
定休日：月曜、火曜、年末年始
そば打ち料金：3人まで 1台3,500円（6皿分）～
※1週間前までに要予約



自然を活かした体験プログラムと民宿
いやしの里いけだ
住所：池田町板垣54-2-1
電話：090-5175-0635（9:00–19:00／土日祝除く）
宿泊料金：1泊2食・1名（中学生以上）10,000円
小学生以下 8,000円
アーシングツアー料金：1名 5,000円～ ※山野草摘体験、食事付き



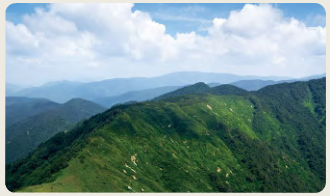
ヴィーガン料理が人気のカフェ&ゲストハウス
Cafe&Guesthouseココラカラ
住所：池田町板垣52-6
営業時間：11:00–16:00
定休日：カフェ 月曜、火曜、水曜、冬期（土日は不定期営業）
ゲストハウス 平日（月曜～金曜）
宿泊料金：1泊2食・1名（中学生以上）12,000円～
※冬期は平日も宿泊受付



100面を超える能面を展示
能面美術館
住所：池田町志津原17-2
電話：0778-44-7757
営業時間：10:00–16:00（土日祝は17:00まで）
定休日：火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料：大人 300円、小中学生 200円



江戸時代初期の民家を移築復元した国の重要文化財
堀口家住宅
住所：池田町稲荷32-17
電話：0778-44-8006（池田町役場教育委員会）
営業時間：9:00–17:00



21世紀に残したい自然100選の一つ
冠山
住所：池田町
通行可能期間：6月～11月上旬（冬期通行止め）



標高1464.6mの池田町で最も高い山
部子山
住所：池田町
通行可能期間：6月～11月上旬（冬期通行止め）



北陸最大級の屋内木育施設
あそびハウス こどもと森
住所：池田町荻田4-1-1
電話：0778-67-5190
営業時間：9:30–16:00 ※最終入館15:30まで
定休日：火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料金：未就学児 500円、小中学生 800円、大人 500円、0歳は無料



昔ながらのこんにゃく作り体験
魚見手作りこんにゃく道場
住所：池田町魚見13-6-1
電話：0778-44-6756
※繋がらない場合は0778-44-8060（池田屋DMO準備室）
営業時間：夏期 9:30～、冬期 10:00～ ※約2時間
定休日：不定休（希望日の1週間前までに要予約）
料金：中学生以上 1,500円、小学生以下 1,000円（体験料、おみやげ付）



全天候型クライミング施設
池田町立クライミングウォール
住所：池田町菅生23-42
電話：0778-44-6181（農村de合宿キャンプセンター）
営業時間：平日10:00–21:00（最終受付20:00）
土日祝10:00–18:00（最終受付17:00）
定休日：水曜、年末年始
入場料：登録料 1,000円（初回のみ）、利用1時間 500円・2時間 800円・1日 1,000円、体験1人 1,800円（90分／登録料なし）



子どもから大人まで楽しめる道の駅
道の駅南えちぜん山海里
住所：南越前町牧谷39-2-2
電話：0778-47-3690
営業時間：7:00–22:00（店舗によって異なる）
定休日：無休



年中遊べる温水プール
ウォーターランド南条
住所：南越前町牧谷29-8　電話：0778-47-3711
営業時間：月曜 13:00–20:30、火曜～金曜 10:00–20:30、土曜 13:00–17:30（開園時間は、お盆期間や冬期など季節により変更になります。詳しくはホームページをご覧ください。）
定休日：日曜（7月～8月は無休）、年末年始
料金：大人 650円、高校生 350円、3歳～中学生 250円



多機能な宿泊施設
今庄の宿かねおり
住所：南越前町今庄85-2-18
電話：0778-45-0073
営業時間：入浴時間 平日15:00–20:30、土日祝 13:00–20:30
定休日：火曜



白山が一望できる露天風呂が自慢
今庄 365 温泉やすらぎ
住所：南越前町板取85-6
電話：0778-45-1113
営業時間：11:00–20:30
定休日：火曜
料金：大人 600円、子ども 300円



キャンプや自然体験を満喫
リトリートたくら
住所：南越前町古木59-52
電話：0778-45-1310
営業時間：9:00–17:00
定休日：水曜、年末年始
料金：オートキャンプ1区画 4,400円、フリーサイト1張り 2,200円、デイキャンプ1張り 1,100円



多くの伝説を持つ神秘的な池
夜叉ヶ池
住所：南越前町岩谷
電話：0778-45-0074（南越前町今庄観光協会）
散策自由（冬期は通行止めのため通行不可）



北国街道の入口
板取宿
住所：南越前町板取
電話：0778-47-8005（南越前町教育委員会）
営業時間：9:00–17:00



河野北前船主通りの観光拠
観光案内所どっときたまえ
住所：南越前町河野2-16
電話：0778-48-2240（南越前町河野観光協会）
営業時間：9:00–16:00
定休日：水曜、年末年始



日本海、敦賀半島を一望できる
道の駅「河野」
住所：南越前町大谷86-1-6
電話：0778-48-2880
営業時間：8:30–19:00
休園日：第2木曜、年末年始



日本海の絶景が広がる海浜公園
ふれあいシーサイドパーク
住所：南越前町今泉19-41
電話：0778-48-2388（河野シーサイド温泉ゆうばえ）
散策自由



国道沿いに広がる海水浴場
河野・甲楽城・糠海水浴場
住所：南越前町河野、甲楽城、糠
電話：0778-48-2240（南越前町河野観光協会）



竜が体を癒した伝説が残る
白竜の滝公園
住所：南越前町糠
電話：0778-47-8002（南越前町観光まちづくり課）
散策自由



泰澄大師の修行道を歩く
越知山
住所：越前町、福井市
電話：0778-34-8720（越前町商工観光課）
通行可能期間：通年 ※ただし、山頂トイレは閉鎖（12月～4月）



日本六古窯・越前焼の歴史が集結
越前古窯博物館
住所：越前町小曽原107-1-169
電話：0778-32-2174
営業時間：9:00–17:00（入館16:30まで）
定休日：月曜（祝日の場合はその翌日）



越前陶芸村内にある温泉料理旅館
樹香苑
住所：越前町小曽原7-7-1
電話：0778-32-2332
営業時間：チェックイン 15:00、チェックアウト 10:00
定休日：不定休



こだわりの十割そばが味わえる
だいこん舎
住所：越前町小曽原120-3-20
電話：0778-32-3735
営業時間：平日 11:00–15:00、土日祝 11:00–17:00
定休日：月曜（祝日の場合はその翌日）



地元産の新鮮な農産物を豊富に取り揃える
MIYAZAKI おもいでなfarm
住所：越前町樫津2-63
電話：0778-32-3545
営業時間：9:00–18:00
定休日：火曜



越前海岸の観光拠点施設
アクティブハウス越前、道の駅「越前」、露天風呂 漁火
住所：越前町厨71-335-1　電話：0778-37-2360
営業時間：アンテナショップ 9:00–17:00
入浴：11:00–21:00
定休日：火曜（祝日の場合はその翌日。ただし夏休み期間は無休、11月～3月は第2、第4火曜）
入浴料金：中学生以上 520円、小学生 310円、3歳～未就学児 200円



温泉に浸かりながら大パノラマを楽しむ
露天風呂 日本海
住所：越前町米ノ66-97
電話：0778-39-1126
営業時間：平日 9:00–20:00、土日祝 7:00–20:00
定休日：木曜（夏休み期間、11月～2月は第1、第3火曜）
入浴料金：中学生以上 520円、小学生 310円、3歳～未就学児 200円



透明感ある神秘的な海の中を体験
ダイビング
問い合わせ：越前町ダイビング協会（越前町観光連盟内）
住所：越前町厨71-335-1
電話：0778-37-1234



高台に位置する展望レストラン
蟹かに亭水仙ランド店
住所：越前町血ヶ平25-2 越前岬水仙ランド下
電話：0778-43-6272
営業時間：11:00–14:00
定休日：月曜、木曜



越前水仙 絶景のビュースポット
梨子ヶ平台地
住所：越前町梨子ヶ平

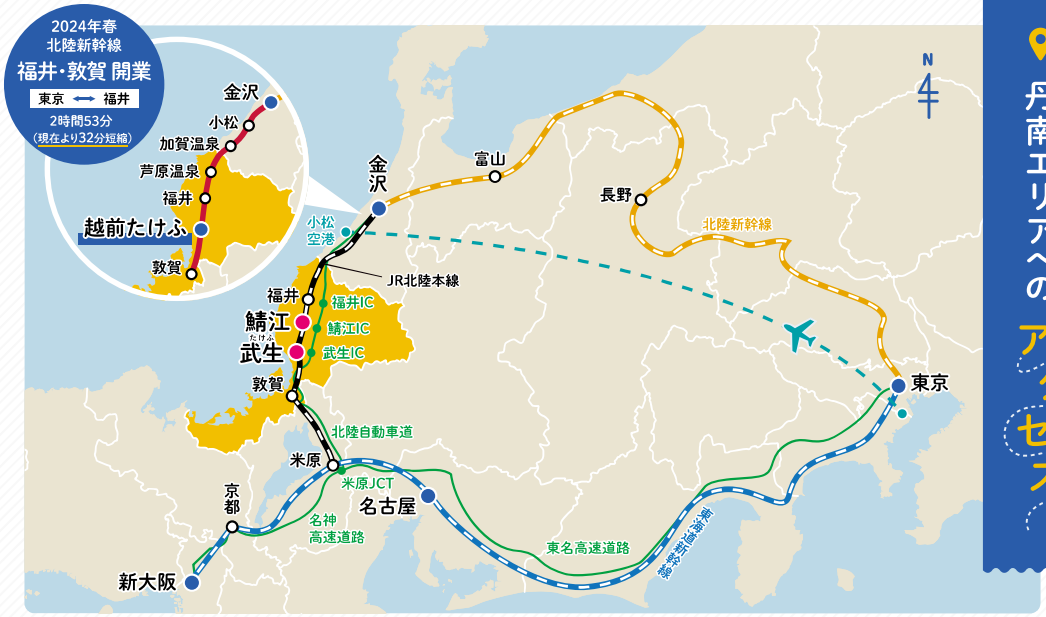


食事、宿泊ができる研修施設
オタイコ・ヒルズ
住所：越前町下河原37-19-1
電話：0778-36-2061
営業時間：レストラン 11:00–14:00
チェックイン 16:00、チェックアウト 10:00
定休日：月曜、火曜



田舎暮らしを楽しむコテージ、かやぶきの宿
悠久ロマンの杜
住所：越前町笈松44-3
電話：0778-36-2050
営業時間：8:30–17:00
定休日：火曜、GW・夏休み期間は無休

丹南エリアへのアクセス



交通手段 ―― 飛行機 電車 車 バス　　所要時間

東京から

飛行機	羽田空港	小松空港	連絡バス	JR 福井駅	JR 鯖江駅・JR 武生駅	約2時間15分
				JR 小松駅		約2時間15分
電車	JR東京駅		東海道新幹線	JR 米原駅	特急しらさぎ JR 鯖江駅・JR 武生駅	約3時間15分
			北陸新幹線	JR 金沢駅	特急サンダーバード／しらさぎ JR 鯖江駅・JR 武生駅	約3時間45分
車	東名・名神・北陸自動車道	今庄・南条・武生・鯖江 IC	約7時間			
バス	東京駅	武生・鯖江 IC	約7時間40分			

大阪から

電車	JR大阪駅	特急サンダーバード JR 鯖江駅・JR 武生駅	約1時間40分
車	名神・北陸自動車道	今庄・南条・武生・鯖江 IC	約2時間30分
バス	大阪（阪急三番街）	武生・鯖江 IC	約3時間10分

名古屋から

電車	JR名古屋駅	特急しらさぎ JR 鯖江駅・JR 武生駅	約2時間
車	名神・北陸自動車道	今庄・南条・武生・鯖江 IC	約2時間
バス	名古屋駅	武生・鯖江 IC	約2時間30分

金沢から

電車	JR金沢駅	特急サンダーバード／しらさぎ JR 鯖江駅・JR 武生駅	約1時間
車	北陸自動車道	鯖江・武生・南条・今庄 IC	約1時間